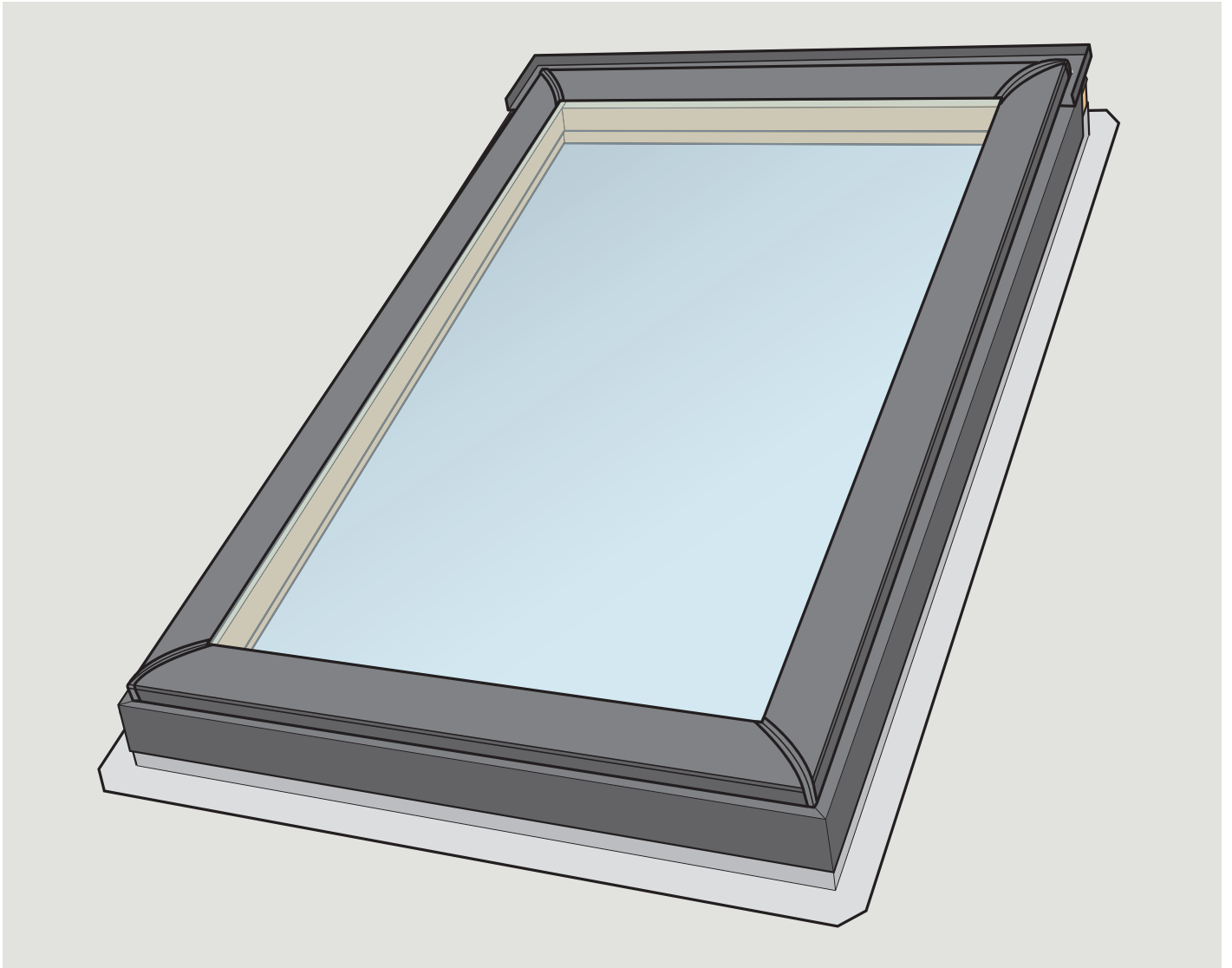


VS/VSE



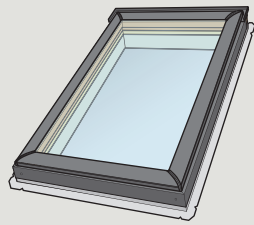
ベルックス VSタイプ 施工説明書

- 窓本体の取り付け及び取り合いは、この説明書に従って正しく施工して下さい。
- 取り付け可能勾配は14° (2.5寸) から85° の範囲内です。



本体取り付け（工事店様用）

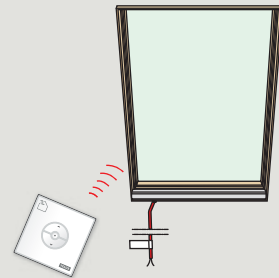
- 6～7 ページ
- 施工にあたり、まず共通部分をご覧ください。
- 次にご使用になる屋根材別のページに進んで下さい。



共通部分

手動・電動

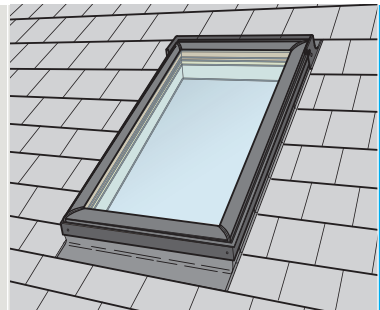
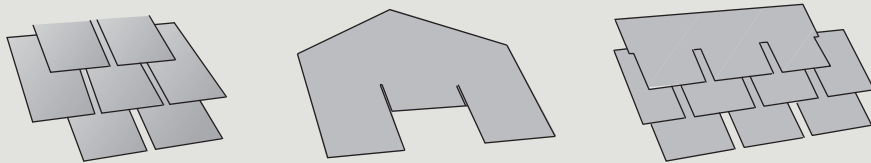
- 4～5 ページ



手動・電動

スレート用屋根工事（スレート工事店様用）

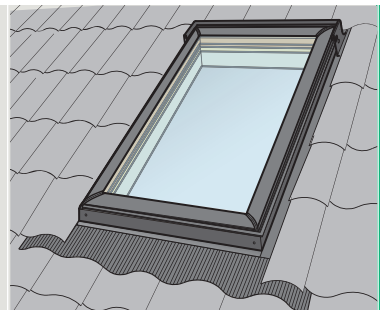
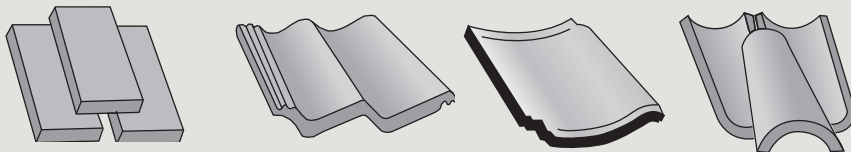
- 8～13 ページ



スレート

瓦用屋根工事（瓦工事店様用）

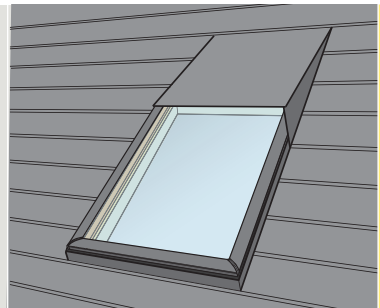
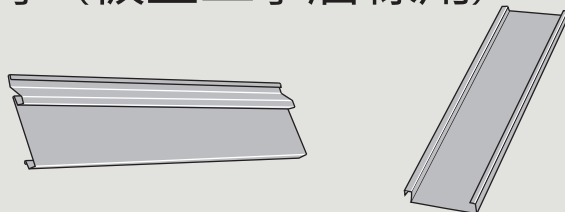
- 14～22 ページ



瓦

鋼板用屋根工事（板金工事店様用）

- 23～30 ページ



鋼板

水切りとアダプターの使用について

鋼板上部水切り：6寸未満に推奨、主に瓦葺き、横一文字葺きなど、積雪地以外で起伏のない鋼板に使用

鋼板掴みアダプター：6寸以上や積雪地に推奨、分水板や棟包み接続、鋼板を天窗上部にかしめる場合に使用

※上記水切りやアダプターを使った施工方法は、同梱の説明書やQRコードからもご覧いただけます。

鋼板上部水切り 鋼板掴みアダプター



次の工程のために、この説明書は大切に保管して下さい。

安全上、施工上の注意

この説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

警告 この表示の項目は、死亡または重傷などを負う可能性が想定されます。

注意 この表示の項目は、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

.....安全のための注意.....

◎けがや事故防止のため、以下のことをお守り下さい。

- ⚠ **警告**
 - ・窓本体を屋根に運搬する作業は、2人以上またはクレーン車等で行って下さい。
 - ・強風時、悪天候時の運搬、施工は行わないで下さい。
 - ・屋根に施工する際、足場を設けて下さい。
 - ・開口部には、墜落防止のための表示等を行って下さい。
 - ・サッシとチェーンの接続は外さないで下さい。
- ⚠ **注意**
 - ・商品は足場の良い所に置き、倒したり、投げたりしないで下さい。
 - ・商品の上に乗らないで下さい。
 - ・怪我や事故防止のため、適切な保護具や安全器具を使用して下さい。
 - ・商品のねじ止め箇所は、すべて確実にねじ止めして下さい。
 - ・ガラスの破損やひび割れを発見した場合は、放置せず、速やかに当社までご連絡下さい。

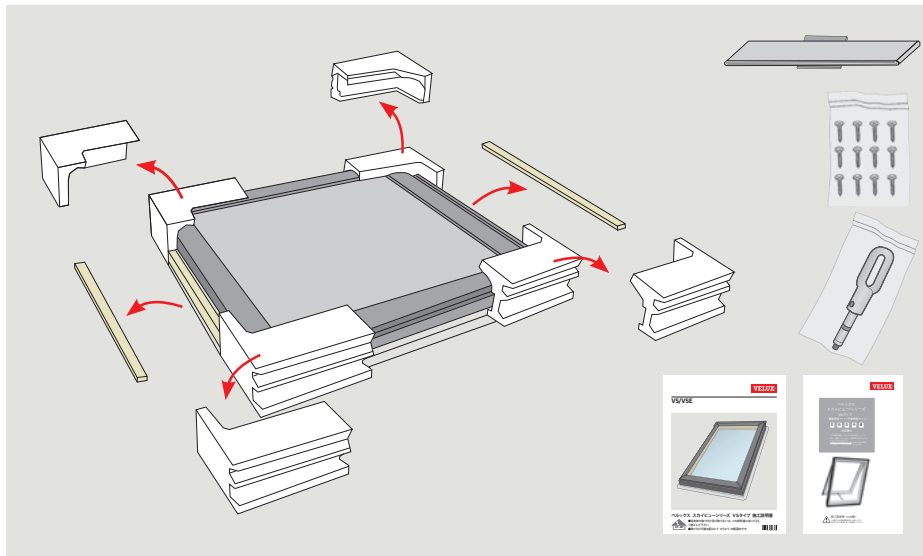
.....施工上の注意.....

◎施工がこの施工説明書に従っておらず、それが原因で雨漏れや故障が発生した場合には、保証ができません。

- ⚠ **警告**
 - ・屋根雪の落下が予想される場所には取り付けしないで下さい。
 - ・窓本体を出入口の用途に使用しないで下さい。
- ⚠ **注意**
 - ・天窓本体の上下を正しく施工して下さい。
 - ・施工可能な屋根勾配は14° (2.5寸) ~85° です。この範囲以外への施工は行わないで下さい。
 - ・窓の汚れは乾拭きで落として下さい。
 - ・ガラス面に荷重をかけたりフィルム等を貼らないで下さい。
 - ・高温の屋根に商品を放置し続けると、ガラスの温度が上昇し割れることがあります。
 - ・天窓上部にジャンプ台を設ける場合や、分水板や棟包み接続など鋼板を直接上部にかしめる場合には、鋼板掴みアダプターを使用して下さい。
鋼板掴みアダプターを使わずに、直接天窓上部の縁を鋼板で掴まないで下さい。
 - ・多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。
また、同区域の鋼板葺きでは、天窓上部にジャンプ台を施工して下さい。
取付け勾配に関わらず、すが漏れは保証対象外となります。
 - ・浴室等、高温多湿となる所へは取り付けしないで下さい。

工事区分

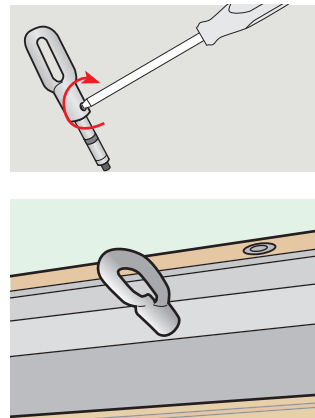
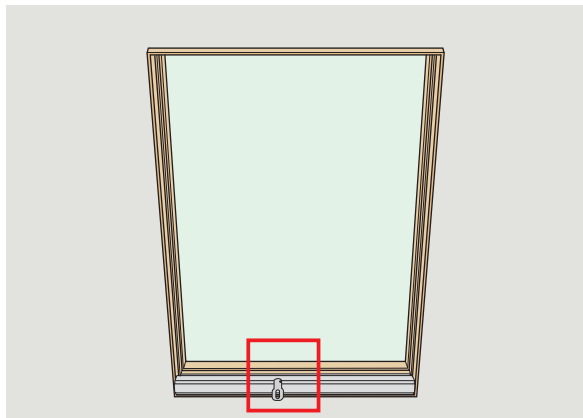
項目	内容	工事区分	ページ
フック	本体にはめ込み	建築	4
網戸	本体にはめ込み	建築	5
開口	野地開口	建築	6
本体	位置決め ビス止め固定	建築	6、7
ルーフィング	ルーフィング施工 コーナーの処理 防水テープ貼付	屋根	10、16、25
水切り 屋根材	水切りと屋根材の 施工	屋根	11、17、27
電気	屋内配線 リモコンの初期設定	電気	31

VS **手動タイプ****梱包内容**

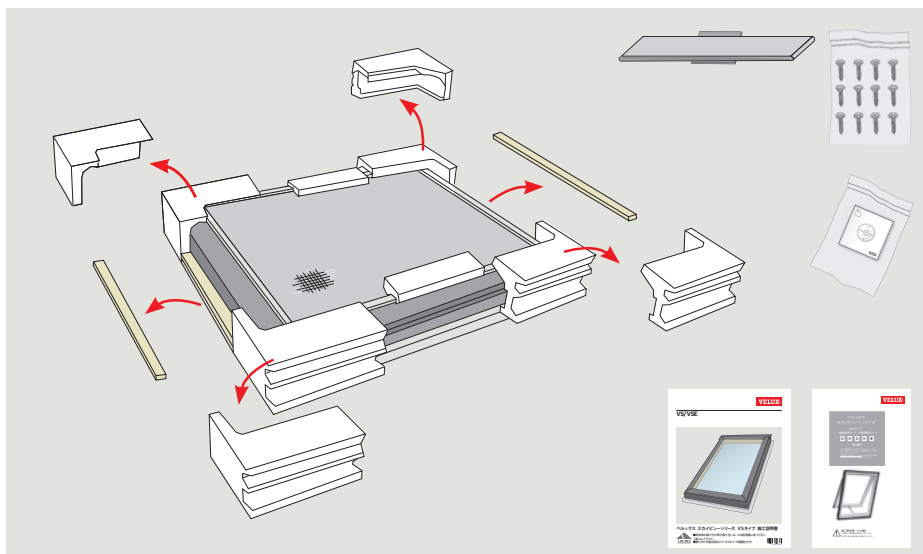
- 施工説明書
- 取扱説明書
- 本体固定用ねじ
- 本体開閉用フック (紛失を防ぐため、すぐに取り付けて下さい。)
- 防水テープ・コーナープチル
- 網戸 (本体に固定済み)

工務店様へ

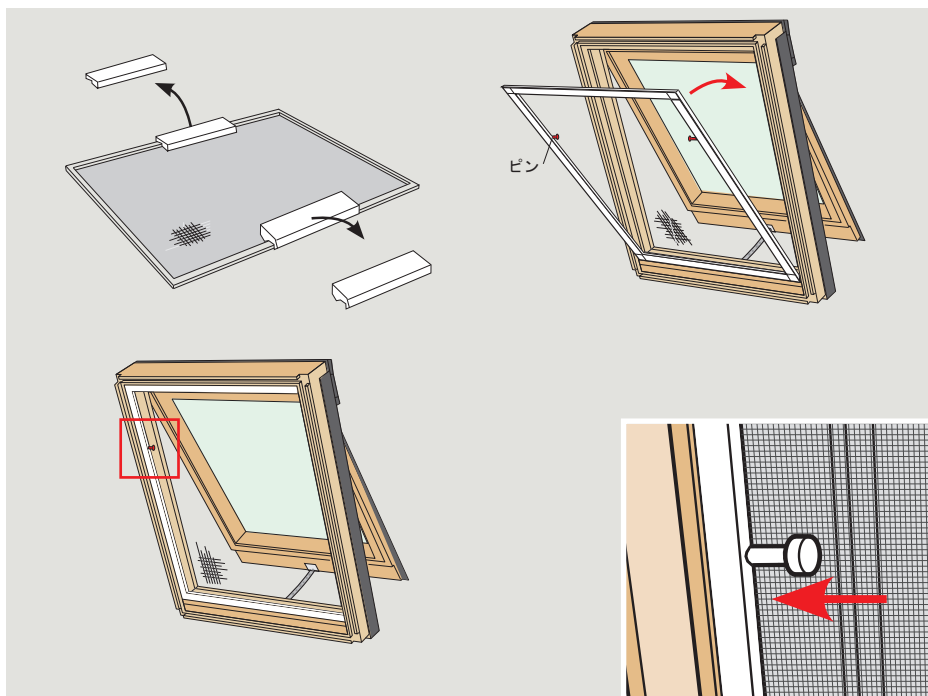
手動タイプには、フックが付属されているので、屋根に設置する前に取り付けて下さい。

**注意!**

- ①左図のようにマイナスドライバーでしっかり締め付ける。
- ②取付け穴に深く差込み、ゴムハンマー等で打込む。
- ③引っ張っても外れないことを確認する。

VSE **電動タイプ****梱包内容**

- 施工説明書
- 取扱説明書
- 本体固定用ねじ
- リモコン
- リモコン取扱説明書
- 防水テープ・コーナープチル
- 網戸

**電動タイプ****・網戸の取り付け方**

網戸をオペレーターカバーに合わせてピンを引いて木枠にはめ込みます。木枠にピン受け穴がありますので、ピンがしっかり差し込まれている事を確認して下さい。

重要!

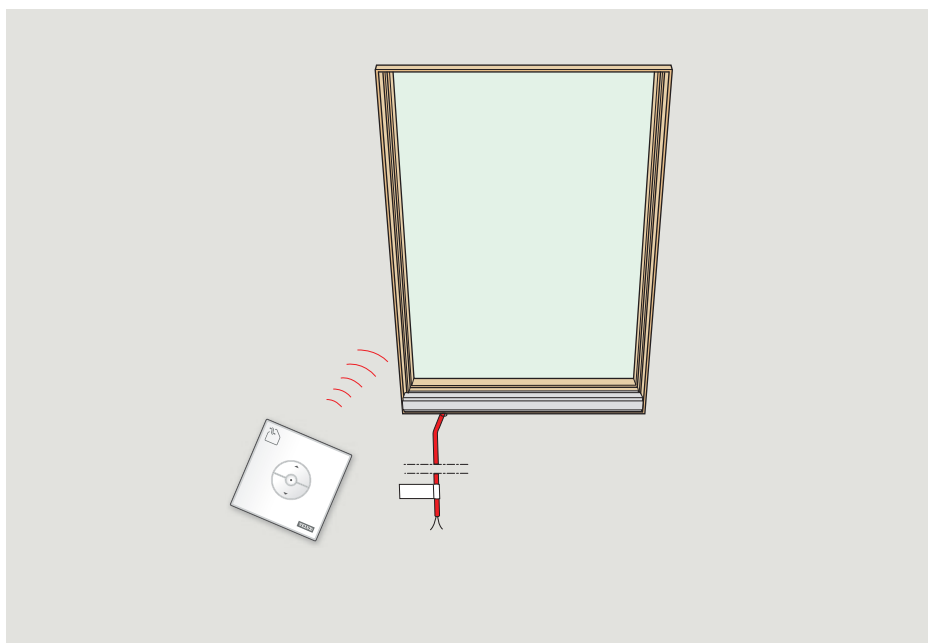
ピンを奥までしっかり差込み、網戸が外れないことを確認して下さい。

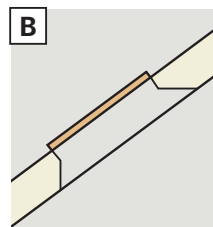
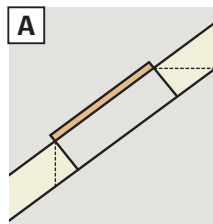
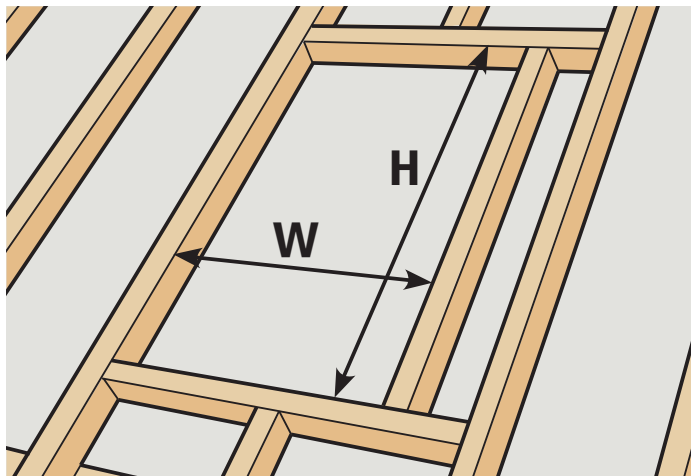
工務店様

電動タイプの場合は、配線ケーブルを室内側に入れて下さい。窓を開ける場合は、リモコン操作で行って下さい。チェーンの解放はしないで下さい。

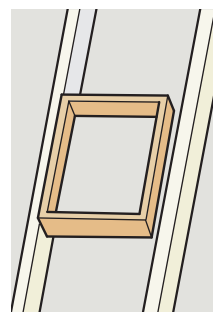
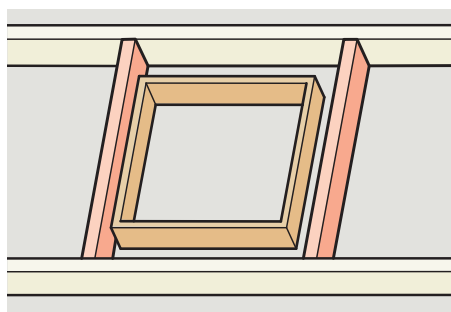
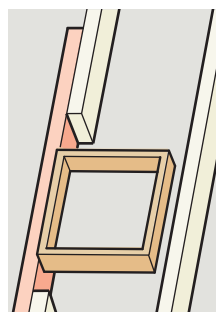
電気工事店様

天窓からの配線ケーブルを100Vに接続し、試運転を行って下さい。詳しくは、リモコンに同梱されている説明書を参照下さい。

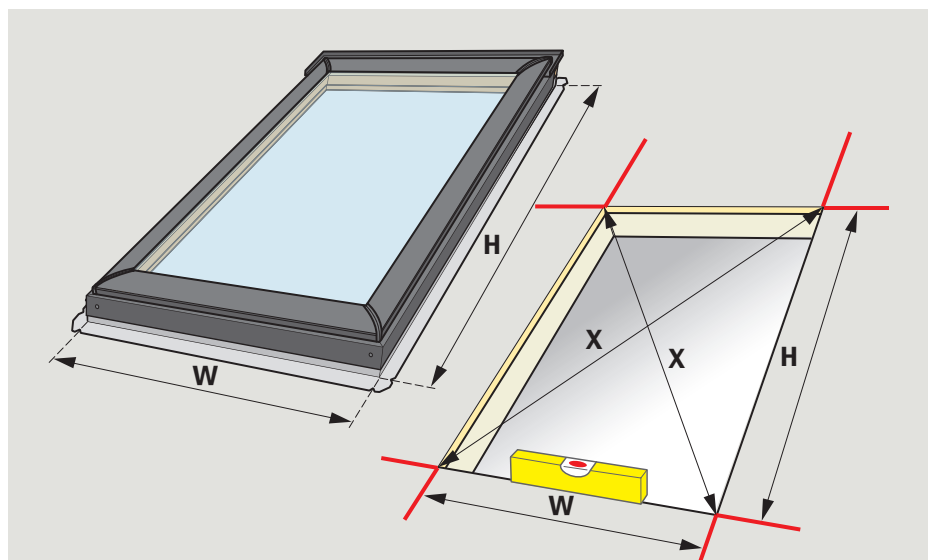




たる木開口寸法(WxH)は、内装パネルの上部・下部がそれぞれ水平・垂直になるようにして下さい。左図Bのように上部内装パネルと下部内装パネルをそれぞれ水平・垂直にとると窓本体から光を効率よく採り入れられるだけでなく、アクセサリーの操作をしやすくします。さらに室内の暖かい空気がガラス面を伝わって循環しますので、結露の発生を抑制します。



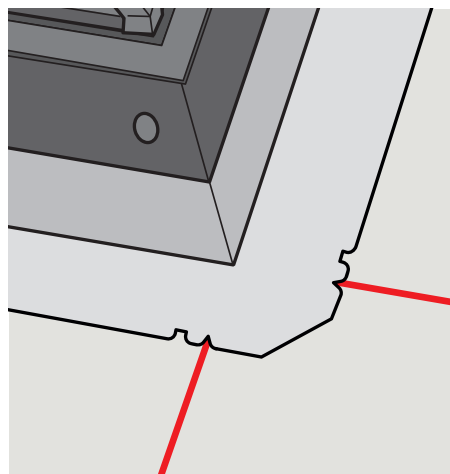
開口部周辺は、たる木で充分補強して下さい。



野地開口寸法(WxH)は本体外寸と同一になります。サイズ別の開口寸法は左表を参考にして下さい。開口は直角が出ていることを確認して下さい。次に、左図のように開口の延長線を引いて下さい。

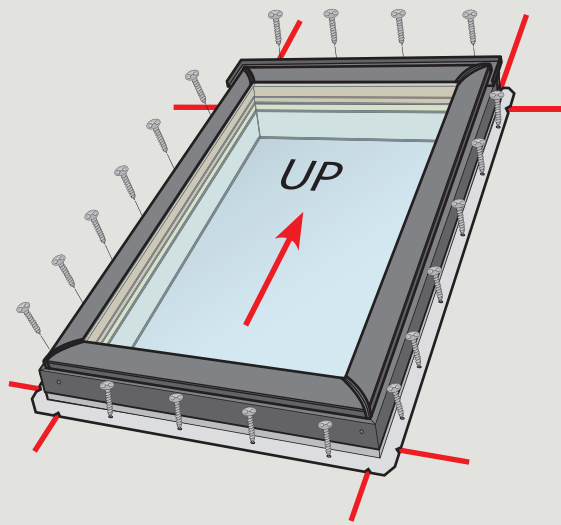
本体を開口に合わせて設置します。この時、左図のように本体の上下を正しく設置して下さい。

VS-C01	546 x 695
VS-M25	776 x 547
VS-M02	776 x 775
VS-M04	776 x 975
VS-M08	776 x 1395
VS-S06	1136 x 1175



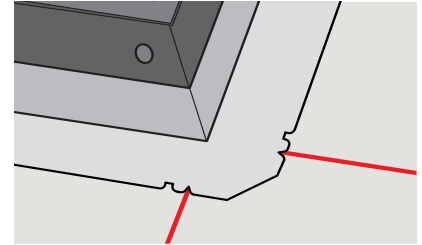
前項で引いた延長線と、本体固定枠のキザミを図のように合わせて下さい。

1

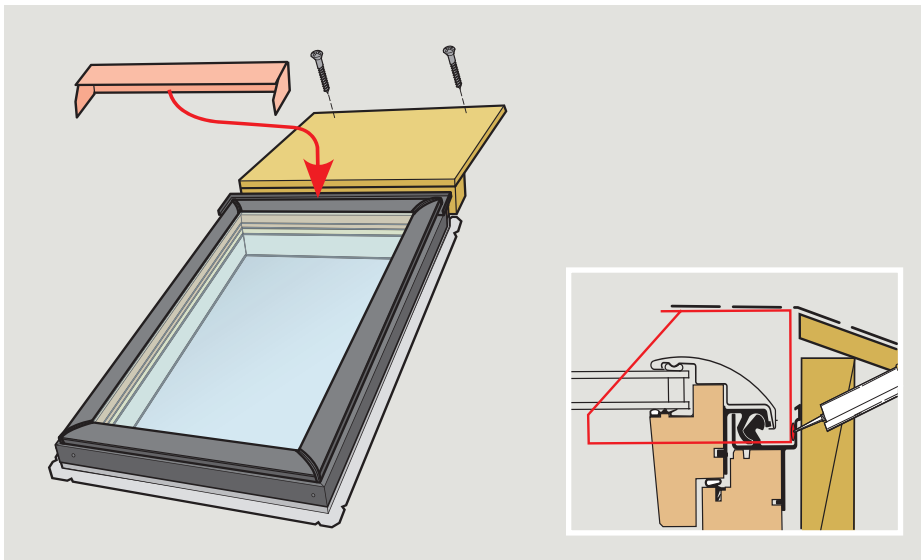


本体の上下を正しく設置し、前項で引いた延長線と本体固定枠のキザミが合っていることを確認して下さい。野地板への取り付けは、固定枠の丸穴全てにねじで行います。

注意！
横長穴は使用しません。



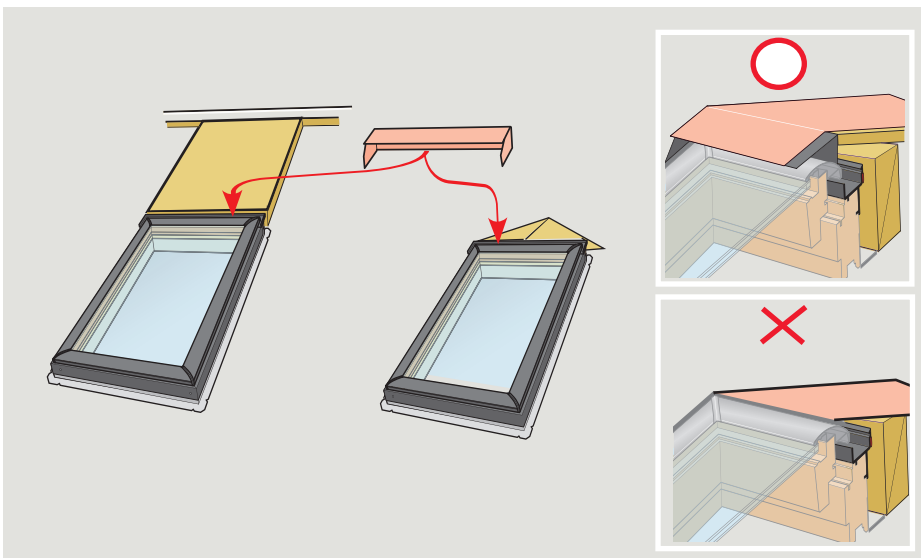
多雪区域での施工上の注意



多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窗上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。同区域の鋼板屋根には天窗上部にジャンプ台を施工して下さい。

- 窓枠上部へ土台となる合板を貼ります。
- 合板は十分な長さを取って下さい。
- 雪が溜まるので、逆勾配にしないで下さい。
- 積雪地用の窓はジャンプ台用アダプターが付いています。
- 現場でアダプターを付ける場合は左図のようにシールや防水テープで取り付けて下さい。

鋼板掴みアダプターの施工上の注意



分水板や棟包み接続など鋼板を天窗上部にかしめる場合には、鋼板掴みアダプターを使用して下さい。

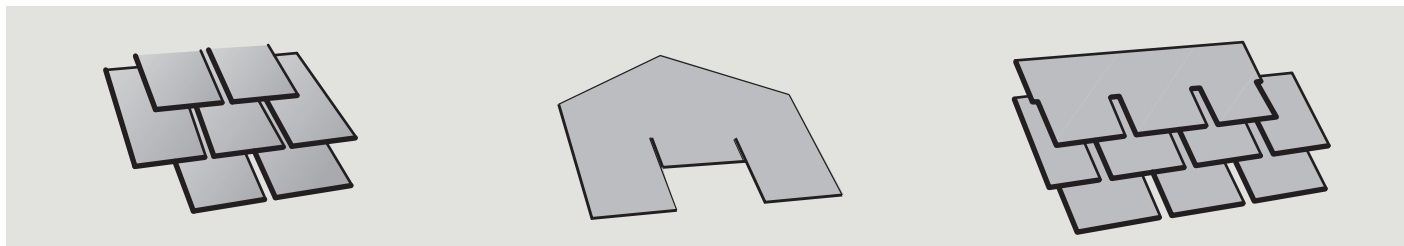
鋼板掴みアダプターを使わずに、直接天窗上部の縁を掴まないで下さい。

スレート用取り付け説明書 (コロニアル・カラーベスト等)

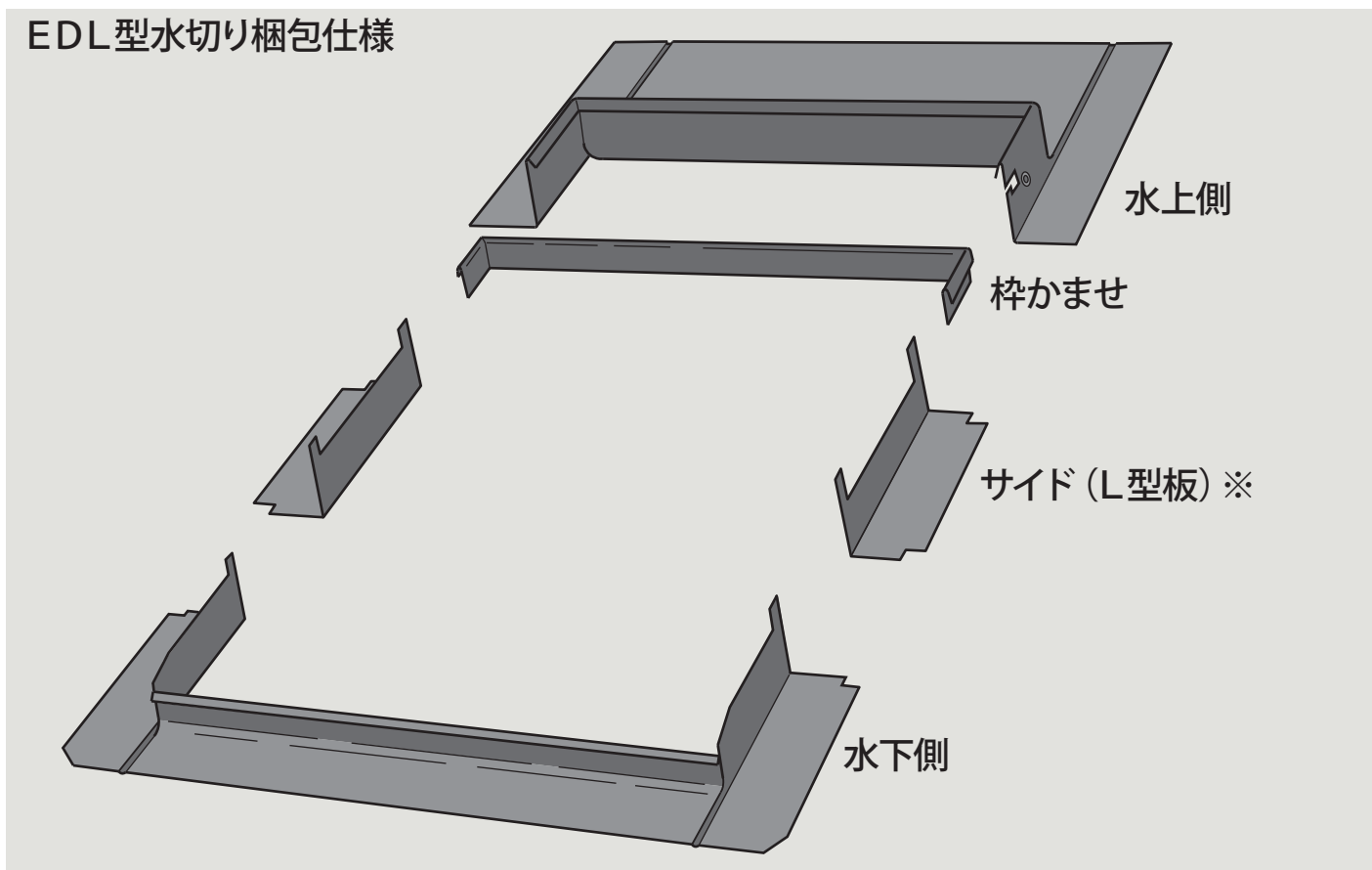
・EDL型水切り使用

*波瓦・S瓦・和瓦等を使用の場合は、EDW 型水切りの説明書を参照下さい。

*鋼板屋根には鋼板横葺き施工例を参照下さい。



EDL型水切り梱包仕様



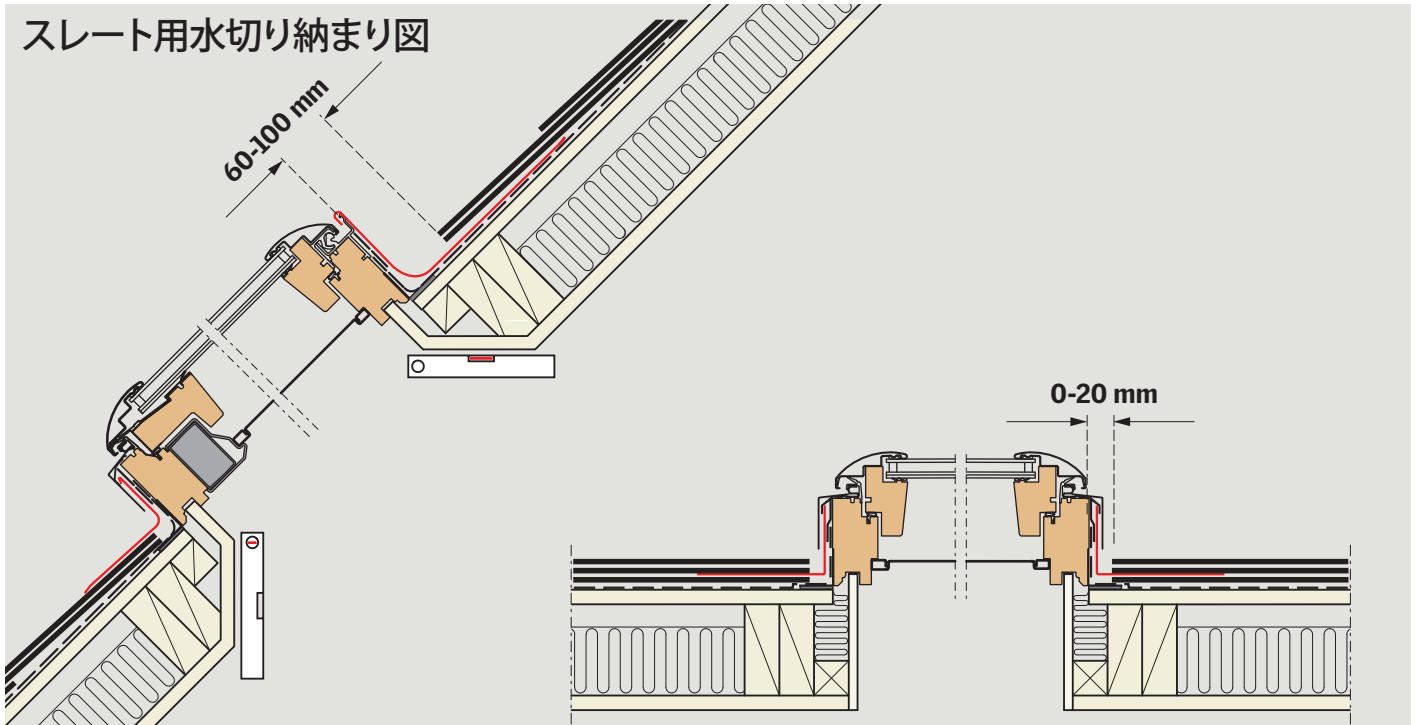
※サイド (L型板) 枚数

C01	8
M25 /M02/M04	12
M08	16
S25/S06	14

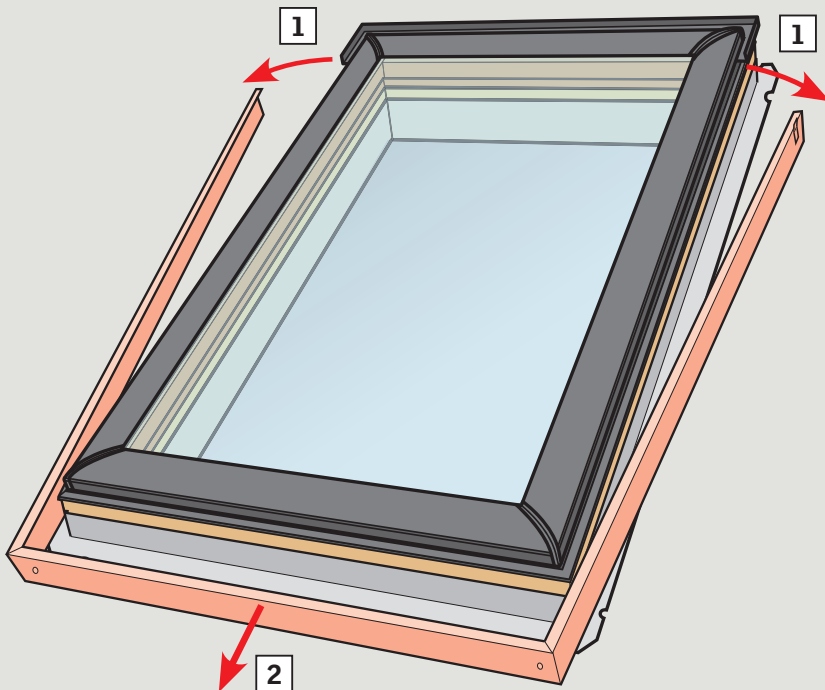
梱包内容

水かませ	1本
サイド	※
水下側	1本
釘/ねじ	1袋

スレート用水切り納まり図

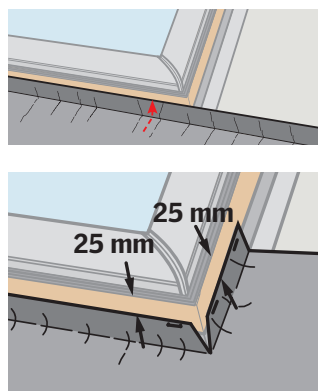
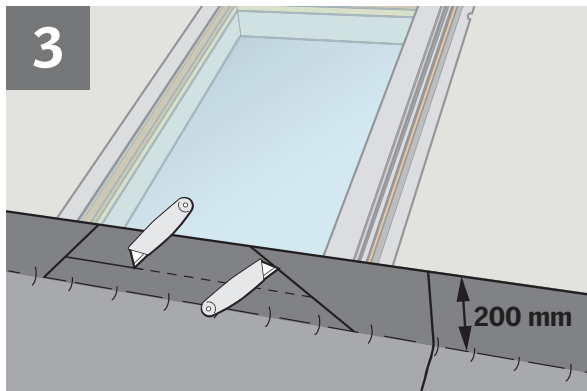


2

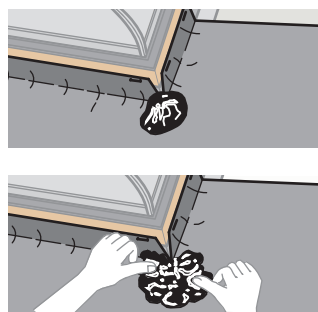
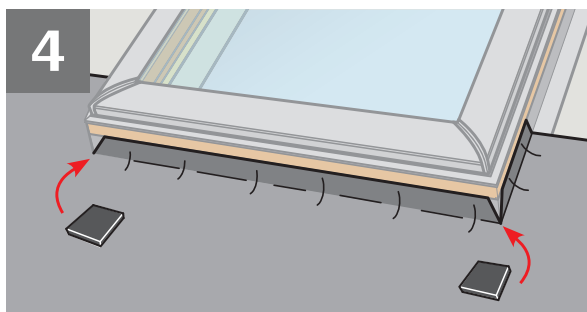


本体のアルミ外装板を、図のように上部を開いてから、下に引いて一旦取り外して下さい。
後で戻すので、紛失、変形しないようご注意ください。

注意!
左右と下部が一体型になっているので、そのまま外して下さい。下部コーナーのねじは外さないで下さい。

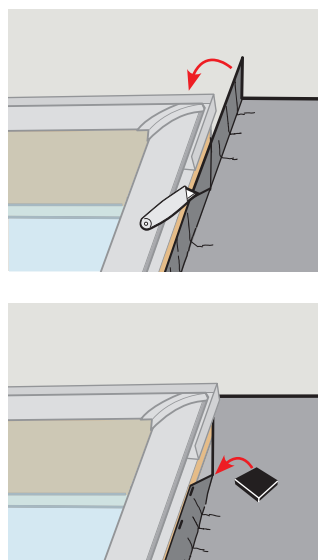
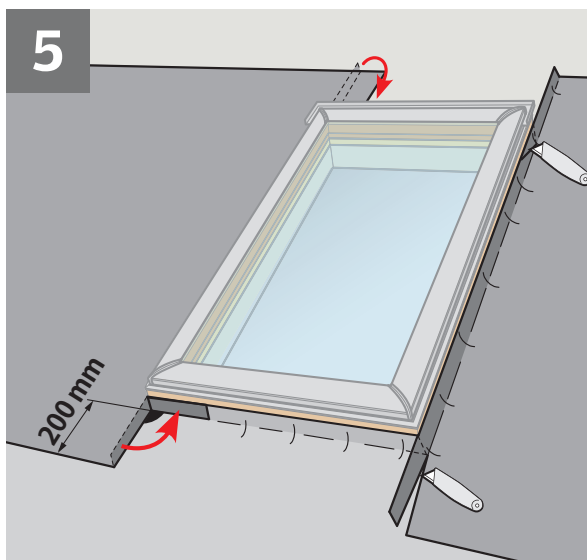


ルーフィングシートを本体上端より25mm下まで立ち上げます。(防水テープを貼るので25mm 木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。

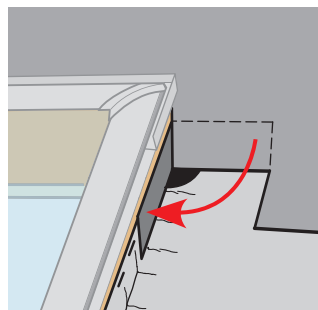
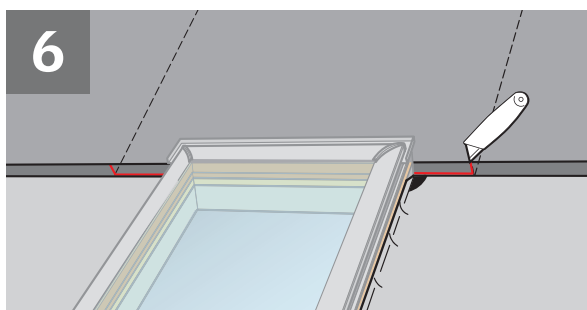


左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーブチルでふさいで下さい。

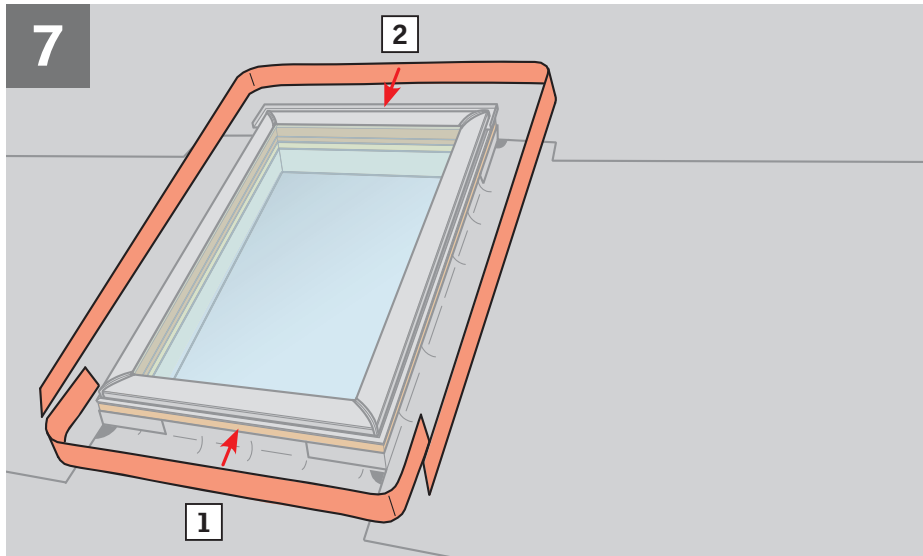
注意!
コーナーブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。



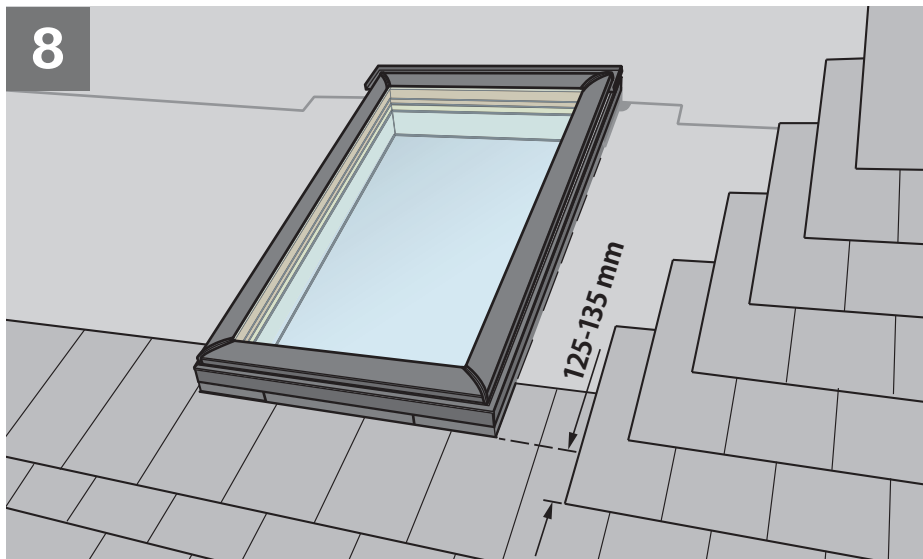
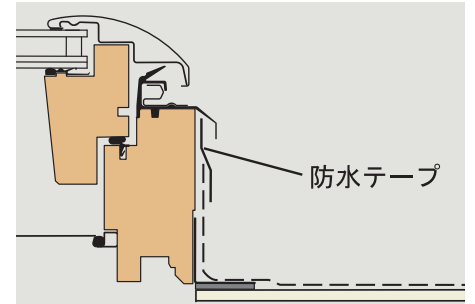
ルーフィングシートは本体サイドの上端より25mm 下まで立ち上げ、下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げてタッカーで留めて下さい。
上部は左右コーナーより角度をつけてカットして下さい。
次にコーナーブチルを接着して下さい。



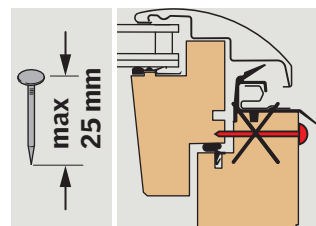
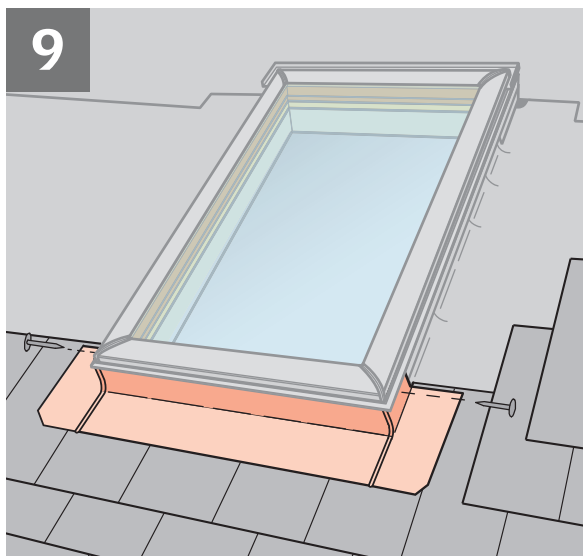
上部木枠も上端より25mm 下までルーフィングシートを立ち上げ左図の要領でカットして折り曲げてタッカーで留めて下さい。



左図のように、ルーフィングシートと木枠を防水テープ(付属品)でしっかり密着して下さい。



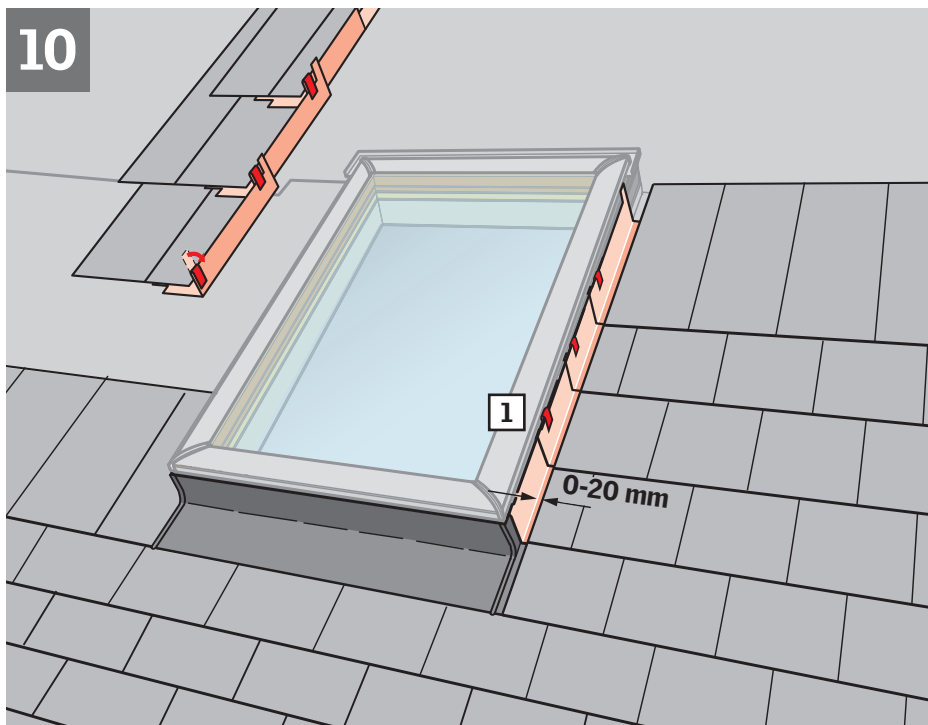
窓枠下部と、サイドにくる屋根材の下端の間隔を125-135mm とって下さい。このようにしますと、下部水切りと屋根材の葺き足がそろいきれいに納まります。



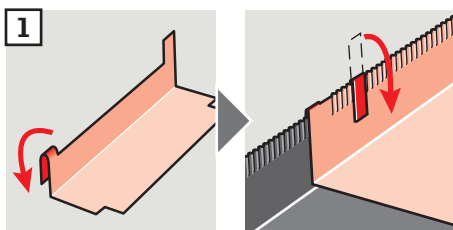
下部水切りを窓枠にはめ込み、付属の釘で固定して下さい。

注意!
26mm 以上の釘を打たないで下さい。内枠まで貫通すると窓の開閉ができなくなります。

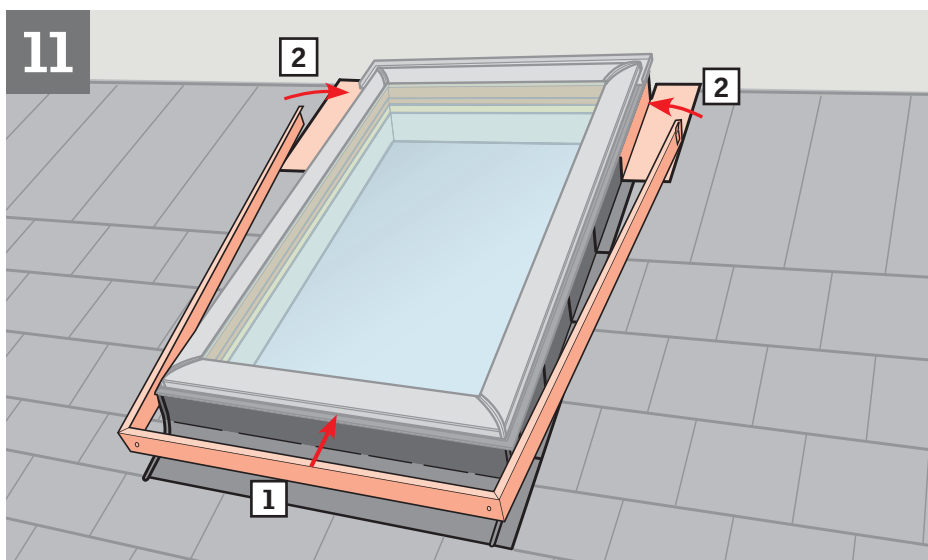
10



水切り側部L型板のリップを図のように曲げ、屋根材の下に敷き、左図に示すようにL型板と屋根材がサンドイッチ状に交互に重なるように下部より順に葺き重ねて下さい。その際上下のL型板の重なりを100mm以上とって下さい。上下のL型板は、リップを曲げて固定します。窓枠側部と側列の屋根材とのすき間は、0-20mm開けて下さい。



11

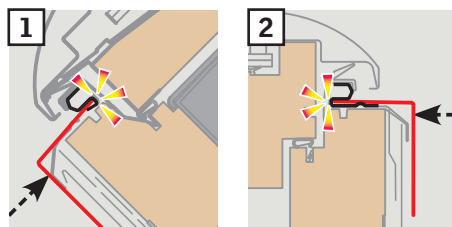
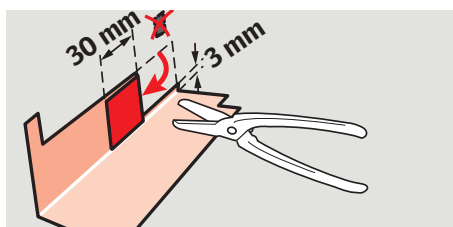


窓枠上部では、L型板の寸法が余りますので図のように切り込みを入れて、外側に折り曲げて下さい。折り曲げ寸法は、30mm以内として下さい。

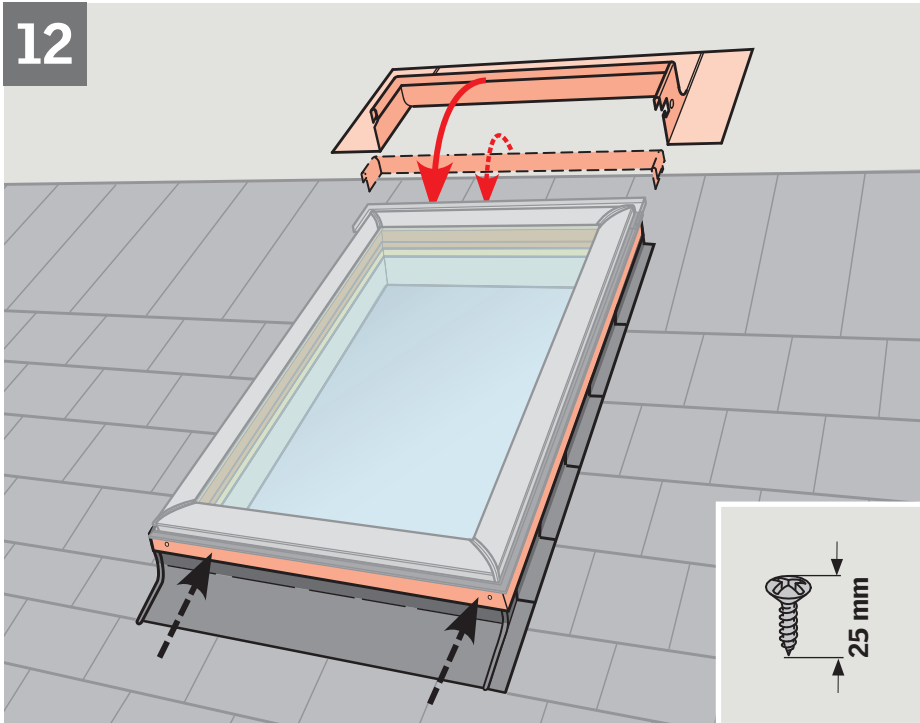
L型板の取り付けが完了したら、外装板を元の位置に取り付けて下さい。まず、外装板上部を図のように開き、下から差し込みます。

重要!

アルミ外装板は、下図を参考に下部→側部の順にしっかり差し込み、正しい位置に戻して下さい。



12



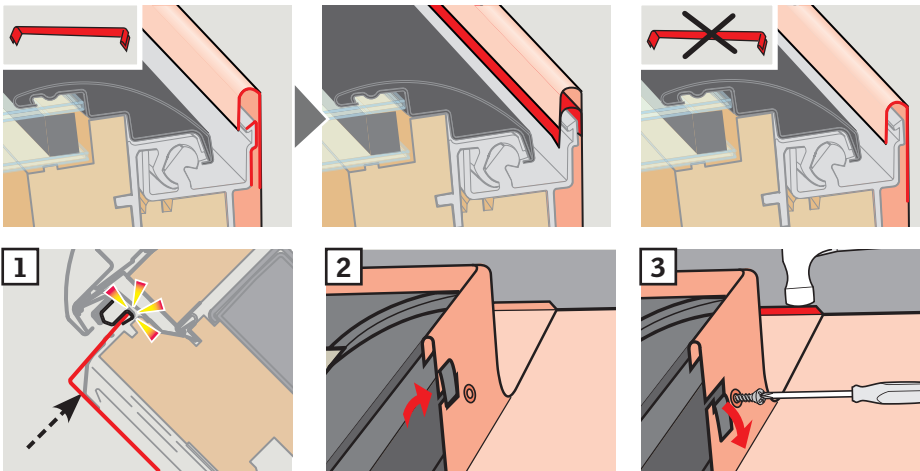
上部水切りは、本体上部の縁（へり）を被いかぶせるようにはめ込みます。この時、アルミ外装板をしっかり差し込み(1)、リップを上部水切りの切り込みから出して折り曲げ(2)、付属のねじを用いて、本体側面に固定して下さい(3)。

重要!

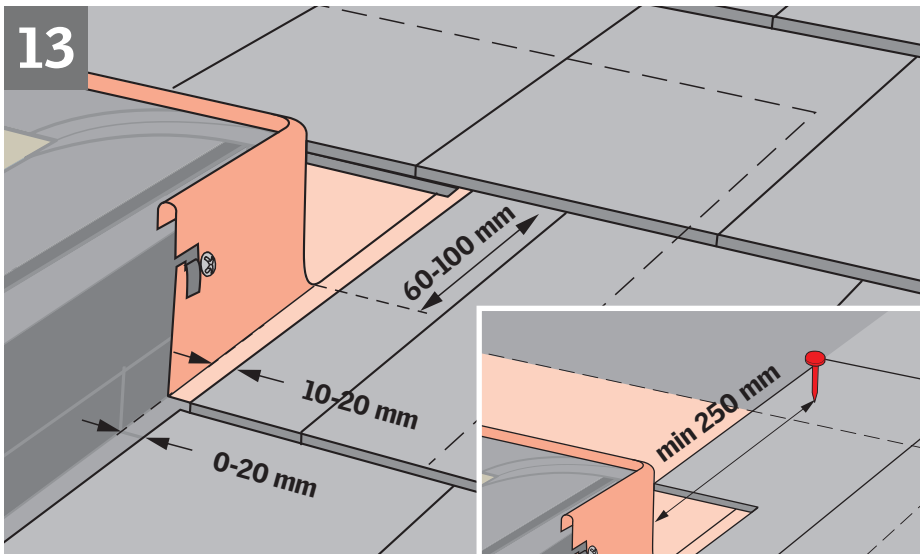
尚、上部水切りには、屋根材の厚みにより、高さ調節用にコの字型の枠かませが入っています。上部外装板と上部水切りの被さりが少ない場合には、枠かませを上部水切りの下に入れて調節して下さい。

水切り上部の折り返しは必要に応じてハンマー等で少したたいて高さ調整して下さい(3)。

サッシが手で開かないことを確認して下さい。万一、窓が開く時は、サッシとチェーンを接続して下さい。



13



上部水切りの上の屋根材は、天窗上部より、60-100mm 開けて下さい。

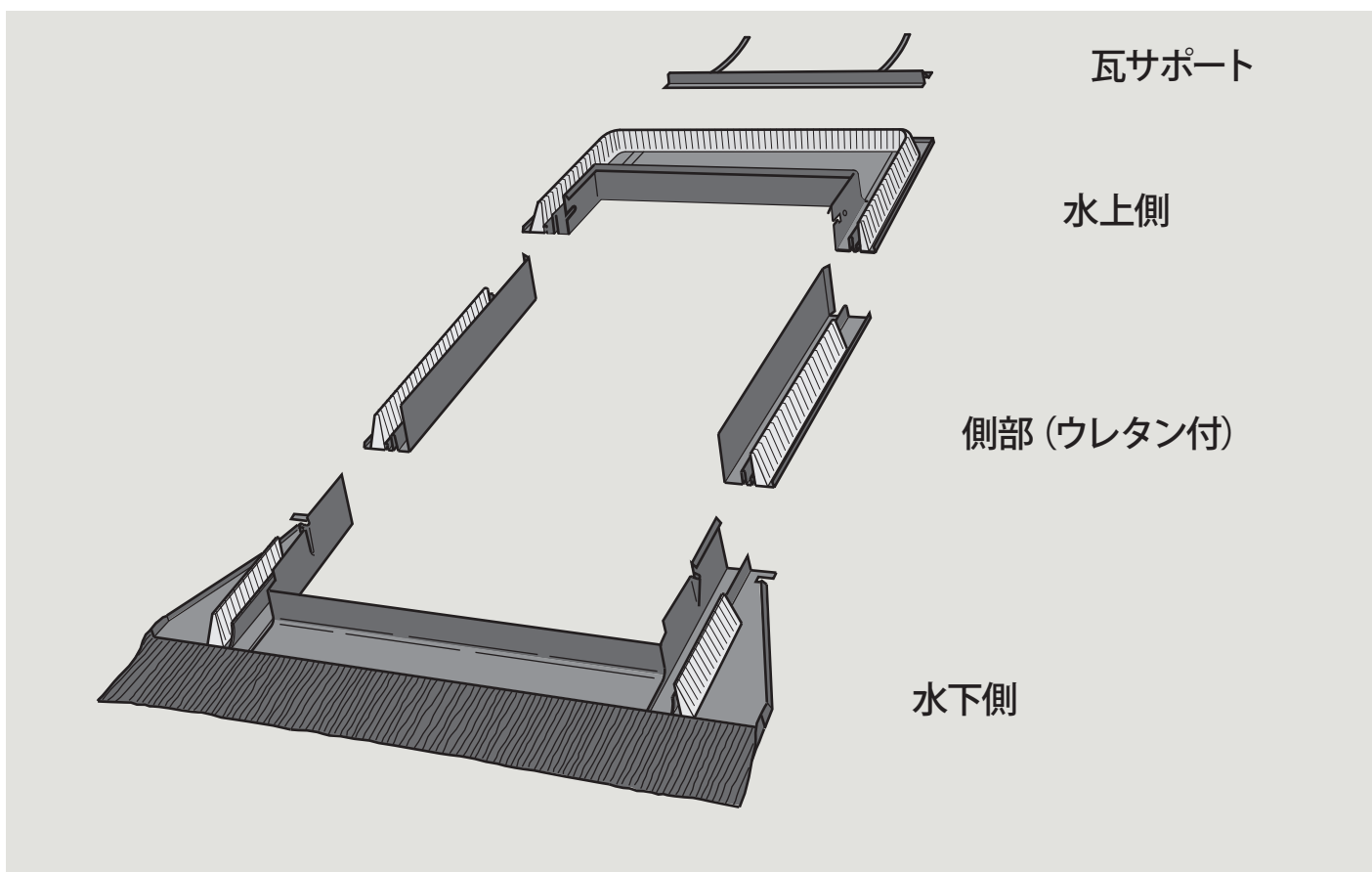
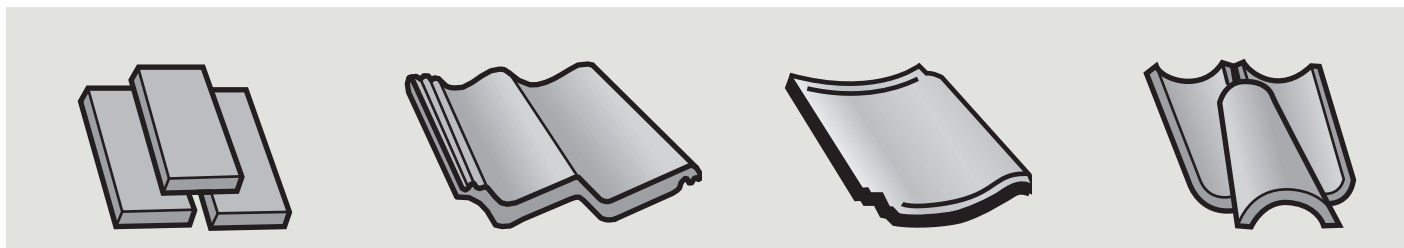
重要!

尚、上部水切りの上には、必ず2枚の屋根材を重ねて下さい。1枚の屋根材だけですと、屋根材の継ぎ目から漏水する場合があります。

下図の上にもう一枚スレートを葺いて仕上げして下さい。

瓦用取り付け説明書 (平瓦・和瓦・波瓦・S型等)

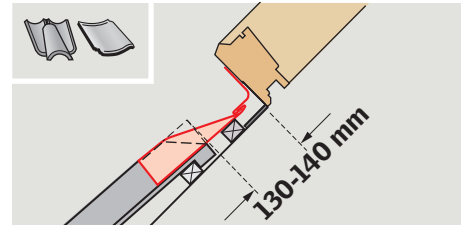
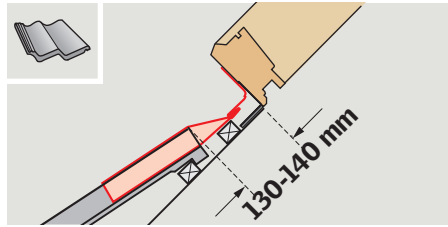
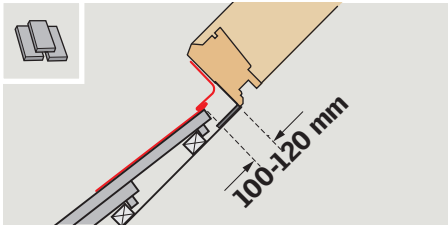
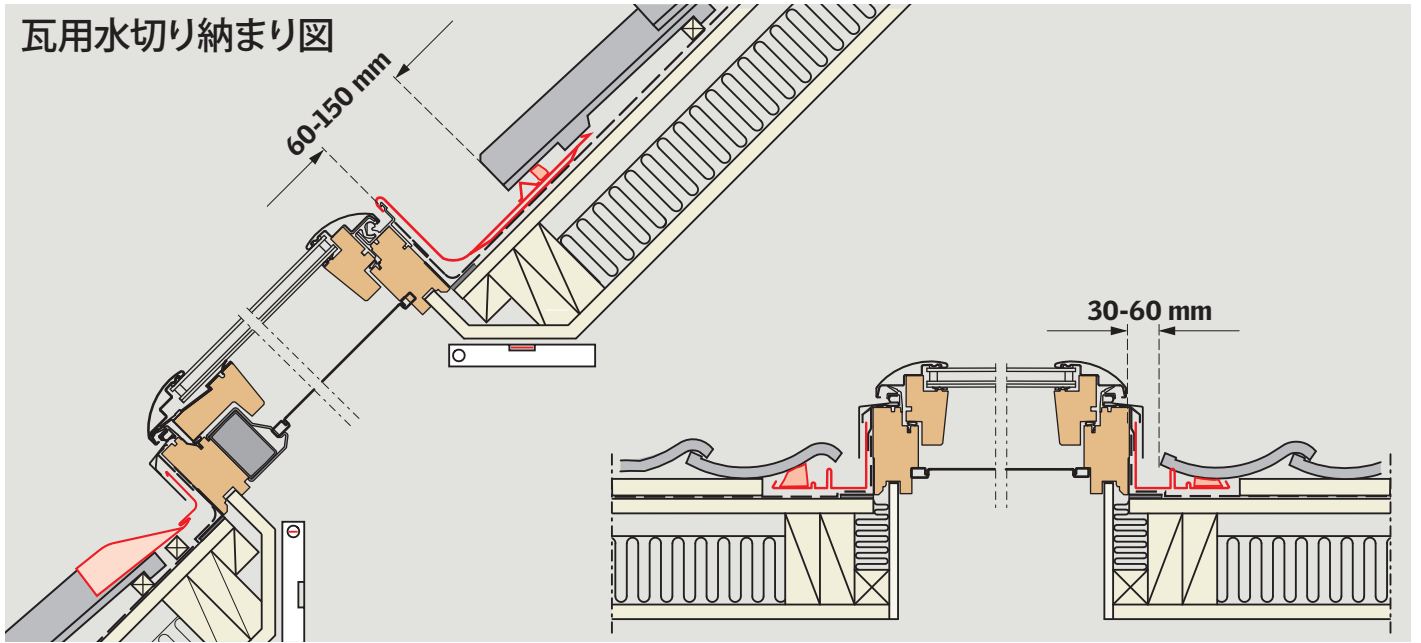
・EDW型水切り使用



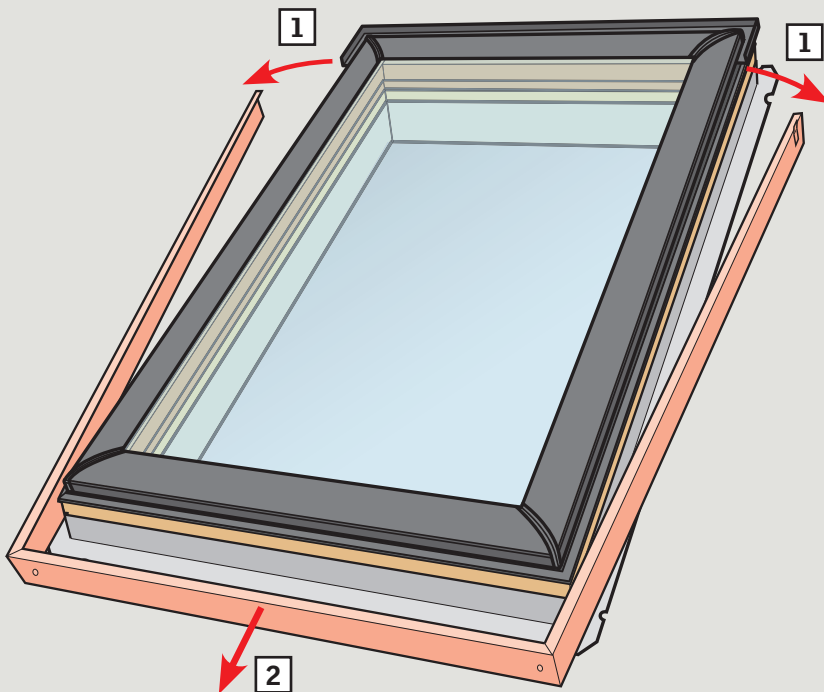
梱包内容

瓦サポート	1本
側部	2本
水下側	1本
釘/ねじ/縁留め金具	1袋

瓦用水切り納まり図

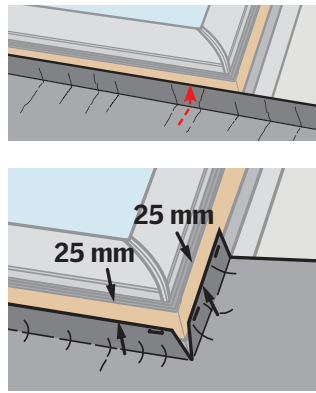
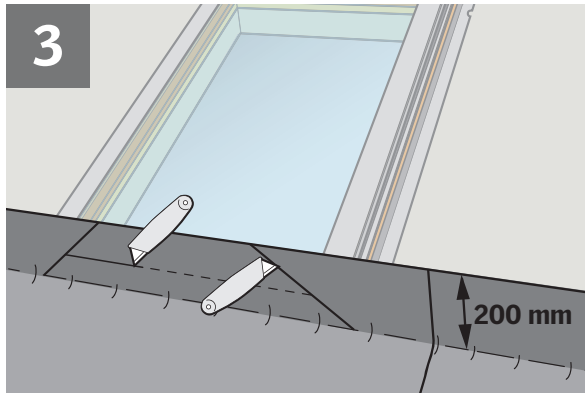


2

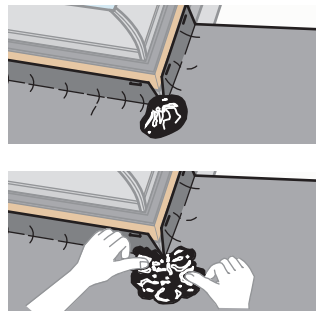
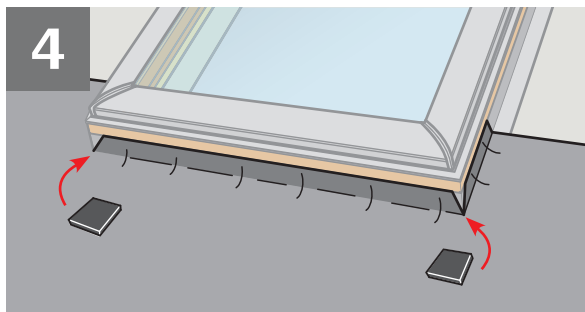


本体のアルミ外装板を、図のように上部を開いてから、下に引いて一旦取り外して下さい。
後で戻すので、紛失、変形しないようご注意ください。

注意!
左右と下部が一体型になっているので、そのまま外して下さい。
下部コーナーのねじは外さないで下さい。

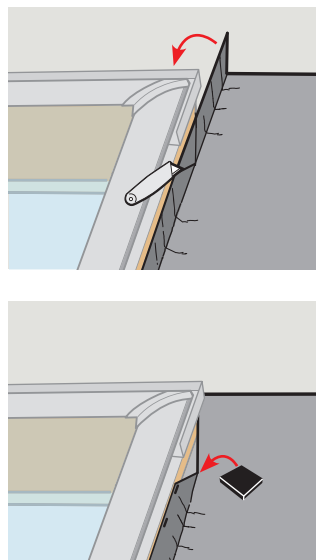
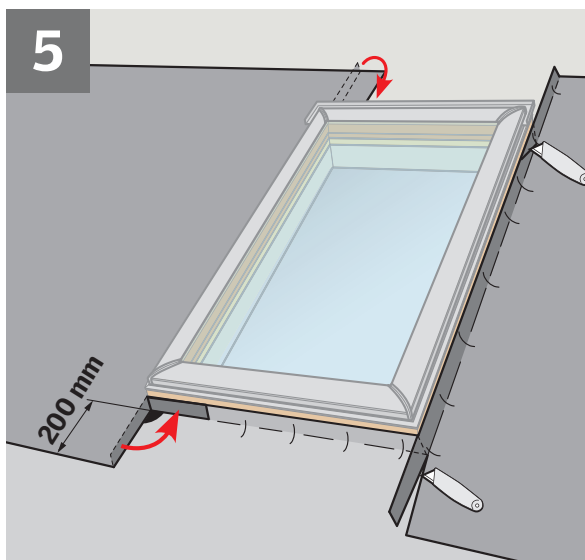


ルーフィングシートを本体上端より25mm 下まで立ち上げます。(防水テープを貼るので25mm 木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。

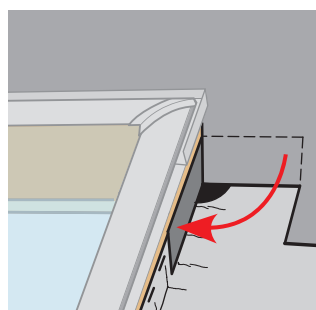
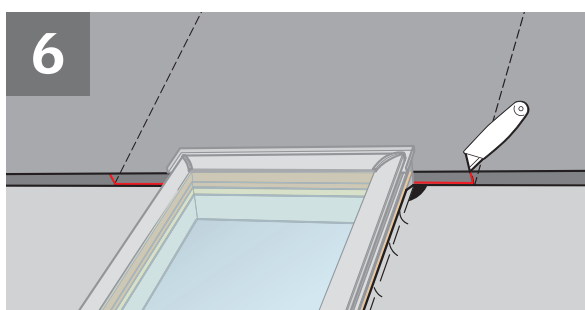


左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーブチルでふさいで下さい。

注意!
コーナーブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。

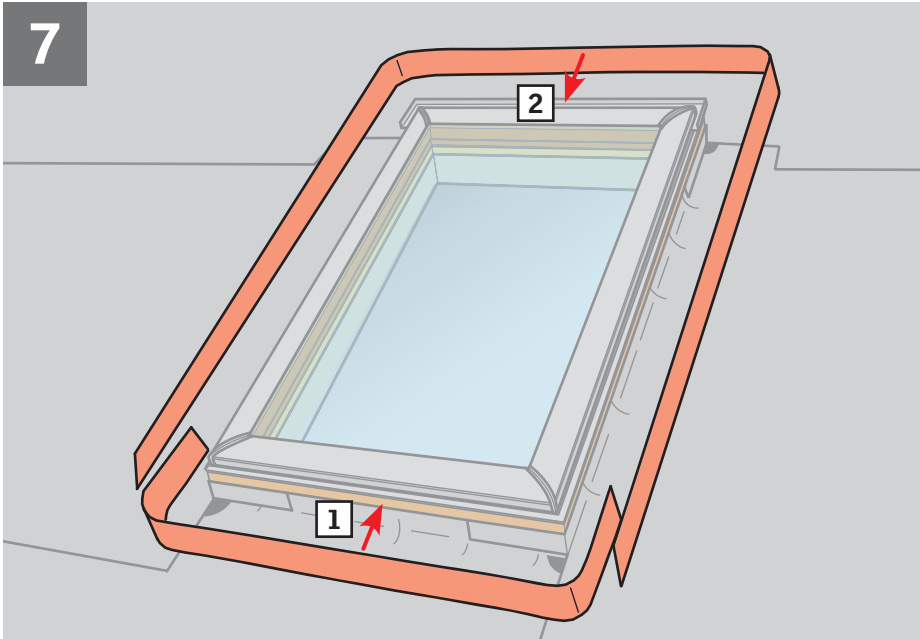


ルーフィングシートは本体サイドの上端より25mm 下まで立ち上げ、下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げてタッカーで留めて下さい。
上部は左右コーナーより角度をつけてカットして下さい。
次にコーナーブチルを接着して下さい。

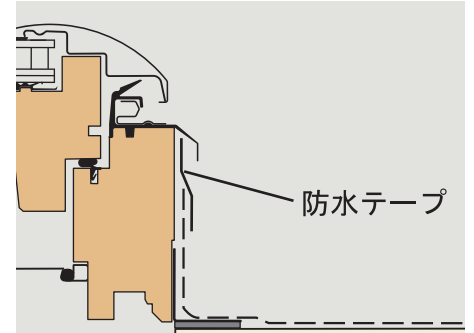


上部木枠も上端より25mm下までルーフィングシートを立ち上げ左図の要領でカットして折り曲げてタッカーで留めて下さい。

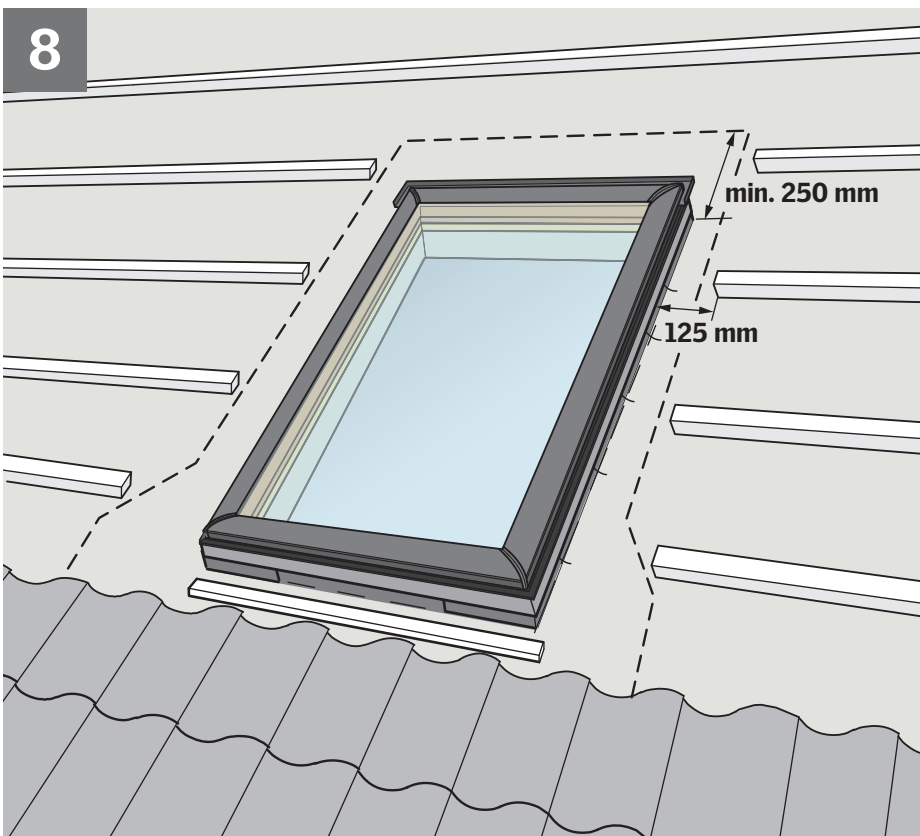
7



左図のように、ルーフィングシートと木枠を防水テープ(付属品)でしっかり密着して下さい。



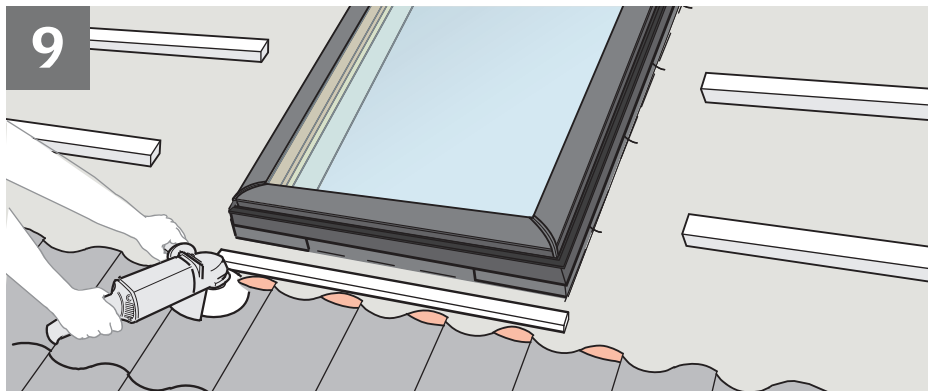
8



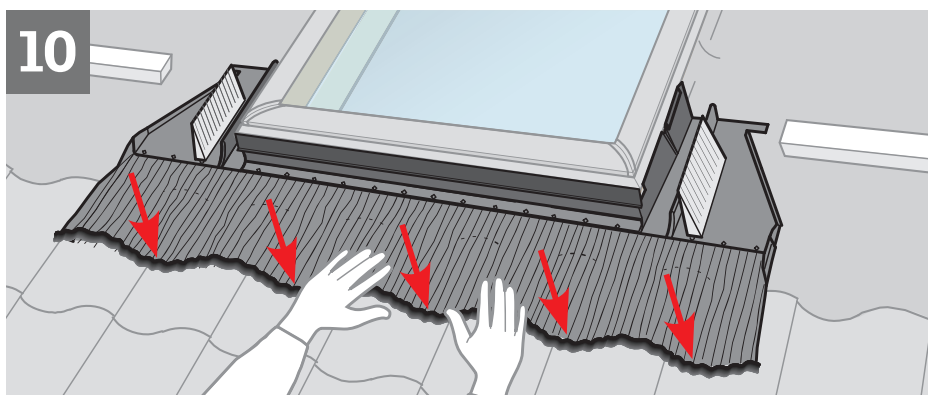
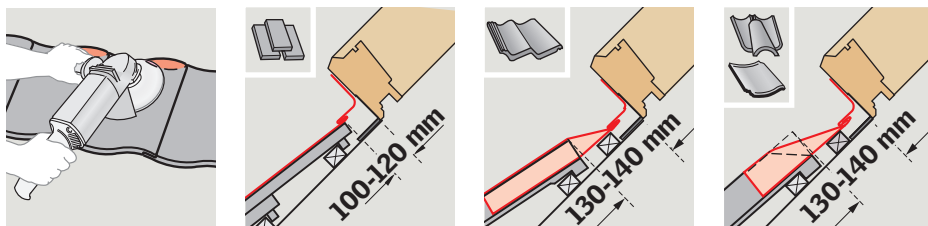
窓枠下部の面と下に納まる瓦とのすき間は和瓦や波瓦の場合130-140mm開けて下さい。

注意!

瓦棧は窓枠側面より125 mm 離れた所で止め、上部は250mm開けて下さい。水切りは野地板の上に乗ります。窓枠と瓦の間に瓦棧等を入れてエプロンが逆勾配にならない様調整して下さい。

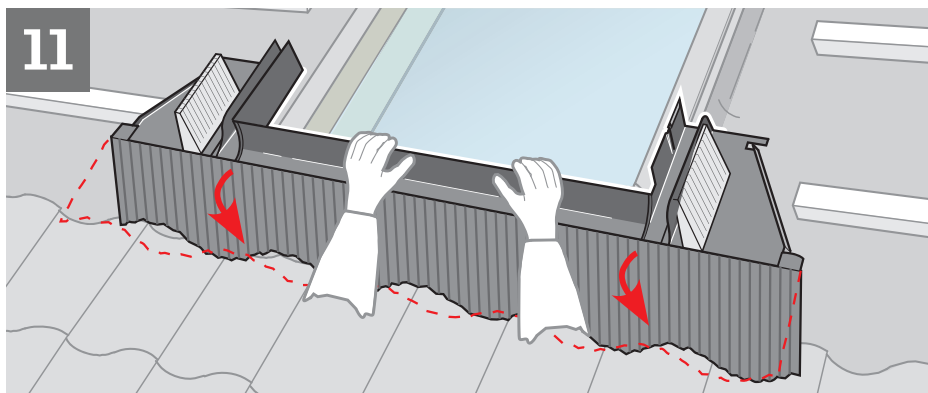


本体と屋根材との間隔は下図を参考に決めて下さい。本体下部の真下に納まる瓦は、左図に示すように角をカッター等で削りとって雨水が滞らないよう調整して下さい。

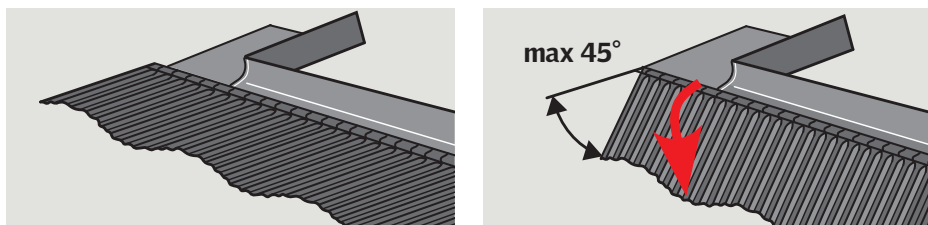


下部水切りは左図のように仮に本体にはめ込み、エプロン部を瓦の起伏に合わせて延ばして下さい。

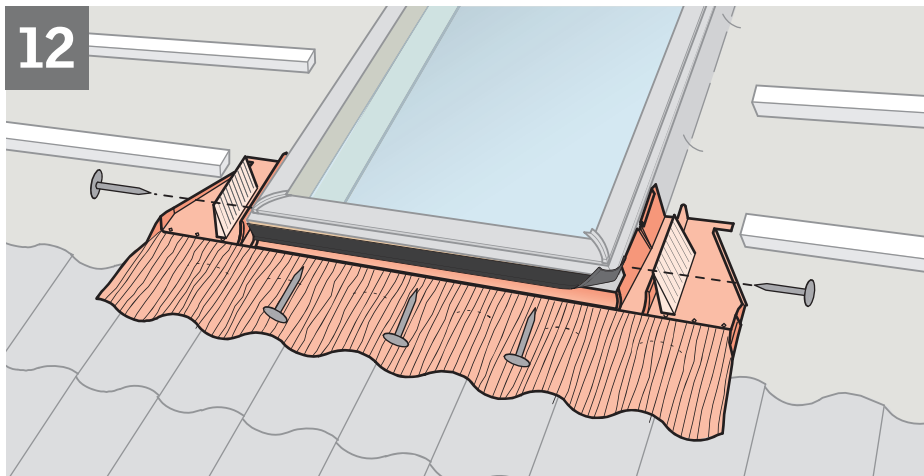
重要!
瓦とエプロンの重なりが少ない場合は、延長エプロン（別売）をご利用下さい。



一旦下部水切りを外し、エプロン部を下右図のように45° 曲げます。このようにしますと、エプロン部と瓦のすき間が最小限に抑えられます。

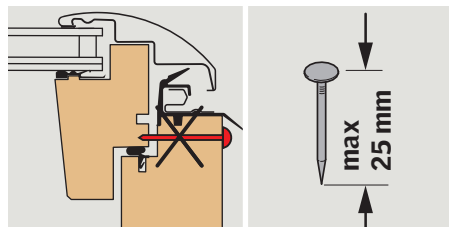
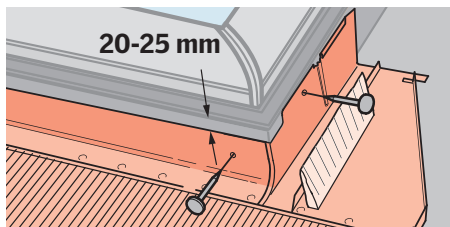


12

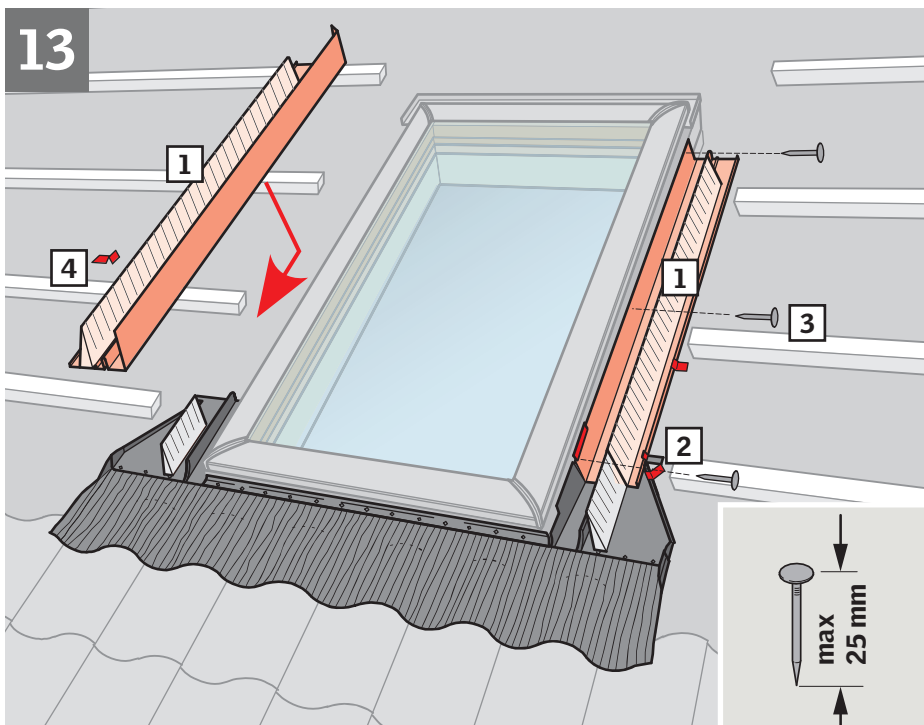


下部水切りを窓枠にはめ込み、左図のように外枠上端より20-25mmの位置に釘止めして下さい。

重要!
強風時のエプロン部めくれを防止する為、瓦とエプロン部を点付けで接着して下さい。

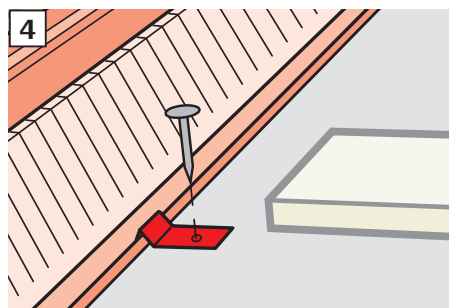


13

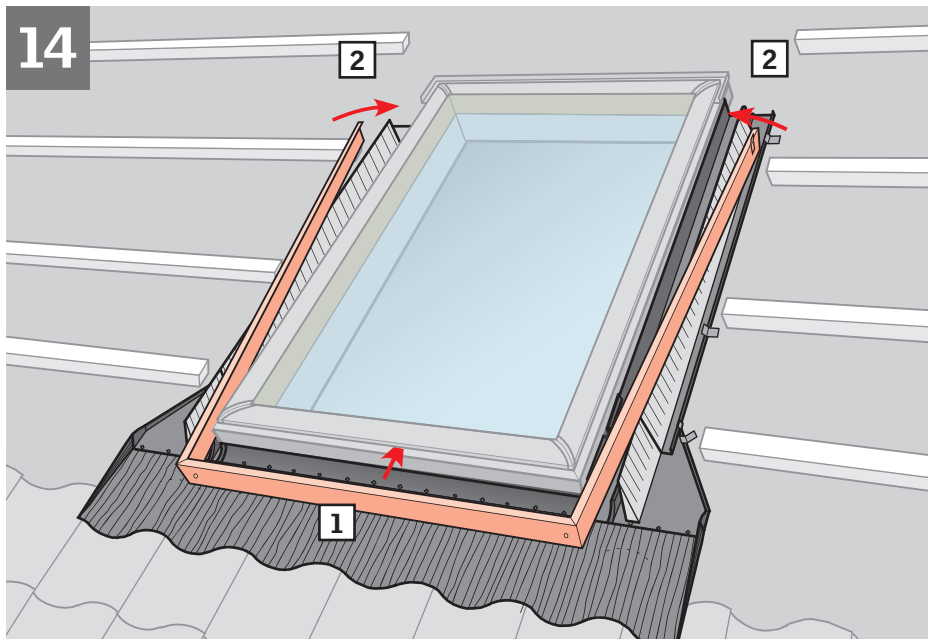


側部水切り1は下部水切りの折り返し部分に差し込み、下左図のように切り込み羽を折り返して下さい。さらに本体へは、付属の釘で固定し、野地板へは下右図のように付属の縁留め金具で留めて下さい。

注意!
水切りを瓦棧の上に乗せないで下さい。



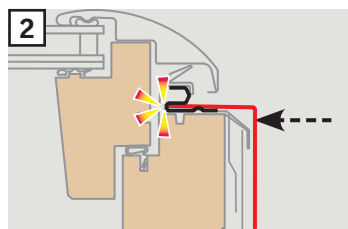
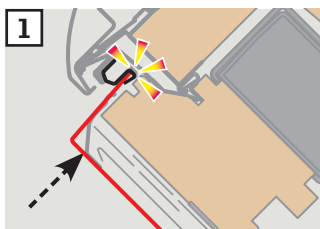
14



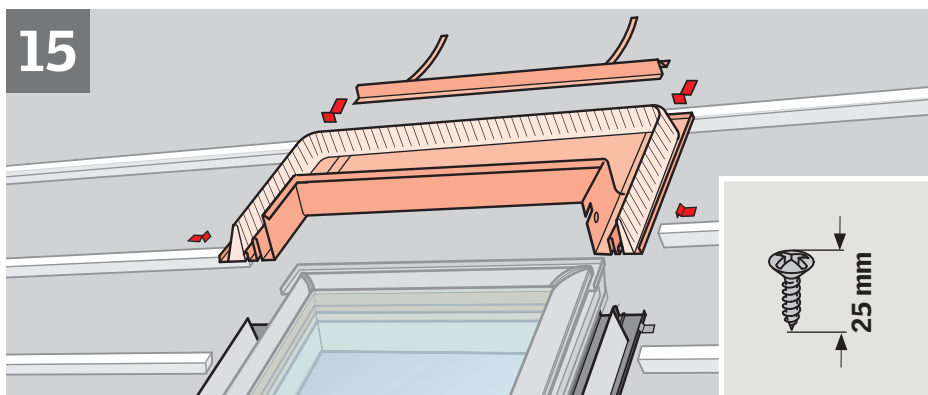
側部水切りの取り付けが完了したら、アルミ外装板を元の位置に取り付けて下さい。まず、アルミ外装板上部を図のように開き、下から差し込みます。

重要!

アルミ外装板は、下図を参考に下部→側部の順にしっかり差し込み、正しい位置に戻して下さい。



15

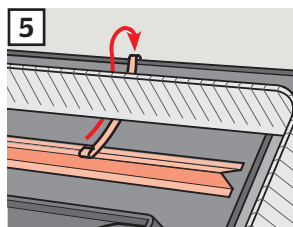
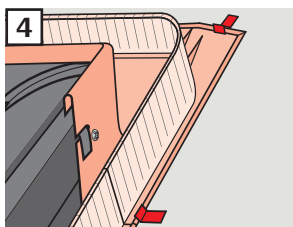
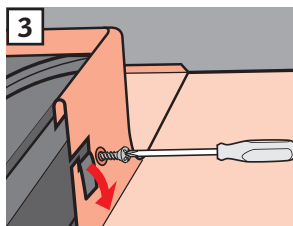
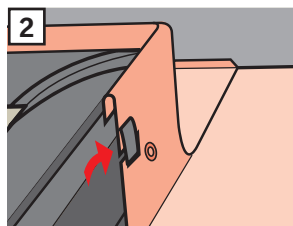
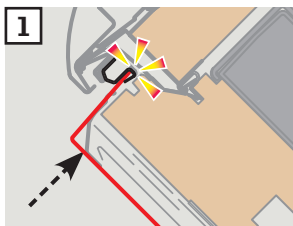


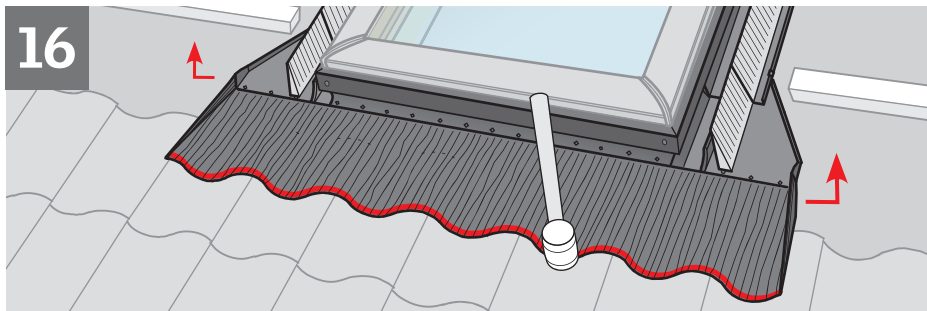
上部水切りは、本体上部の縁（へり）を被いかぶせるようにはめ込みます。

この時、アルミ外装板をしっかり差し込み(1)、リップを上部水切りの切り込みから出して折り曲げ(2)、付属のねじを用いて、本体側面に固定して下さい(3)。野地板へは付属の縁留め金具で留めて下さい(4)。

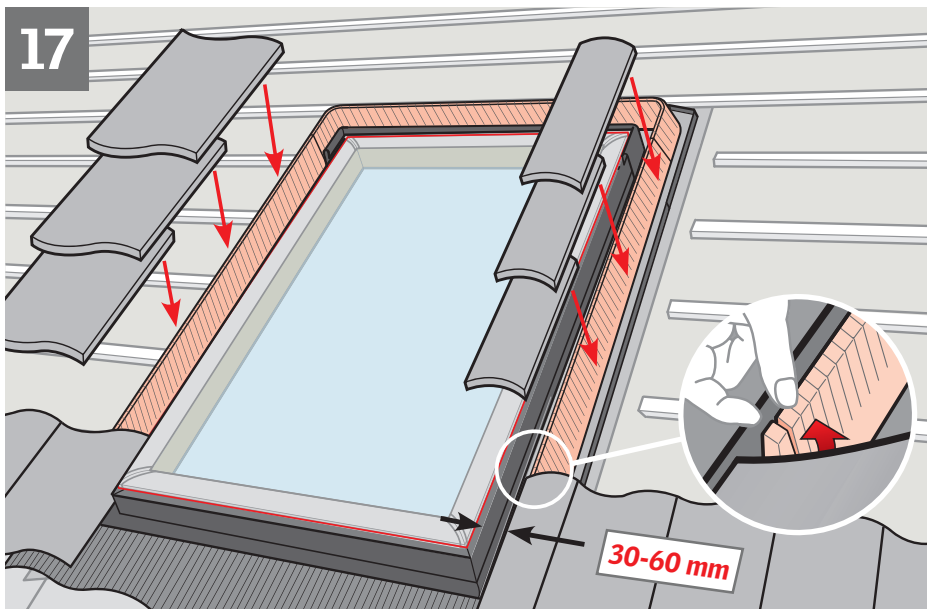
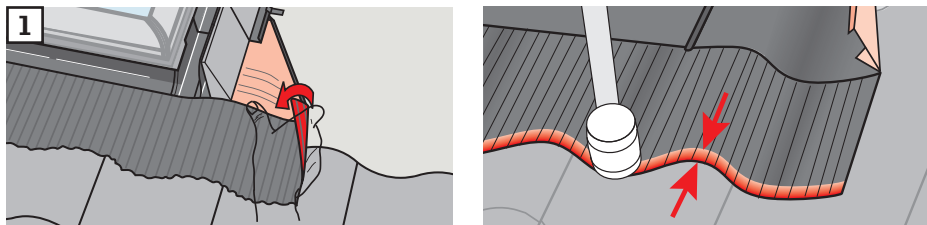
尚、上部水切りには、天辺にくる瓦が横の瓦と高さのバランスを崩さぬよう瓦サポートが入っています。

この瓦サポートを上部水切りの中央に置きウレタンの下から2枚の留め金具を差し出して、上部水切りの下へ折り込みます(5)。





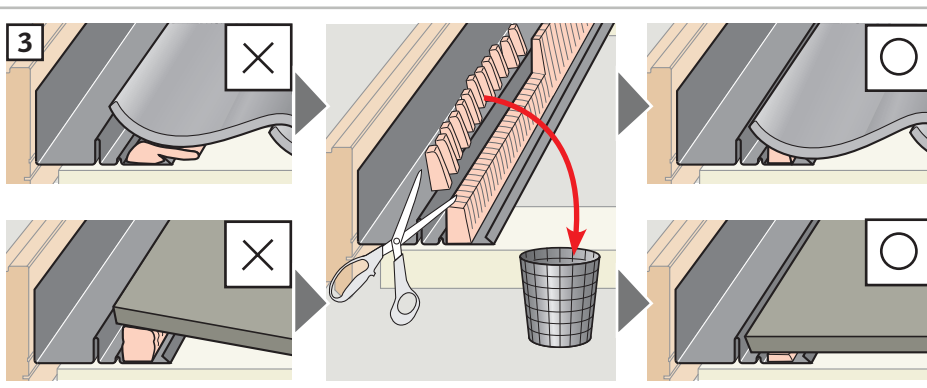
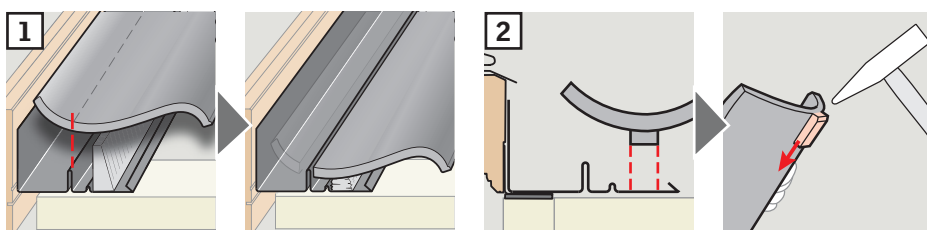
エプロン部の左右端を1cm折り返して、できるだけ瓦とのすき間ができないように、瓦の起伏に合わせて、プラスチックハンマー等で入念に延ばして下さい。



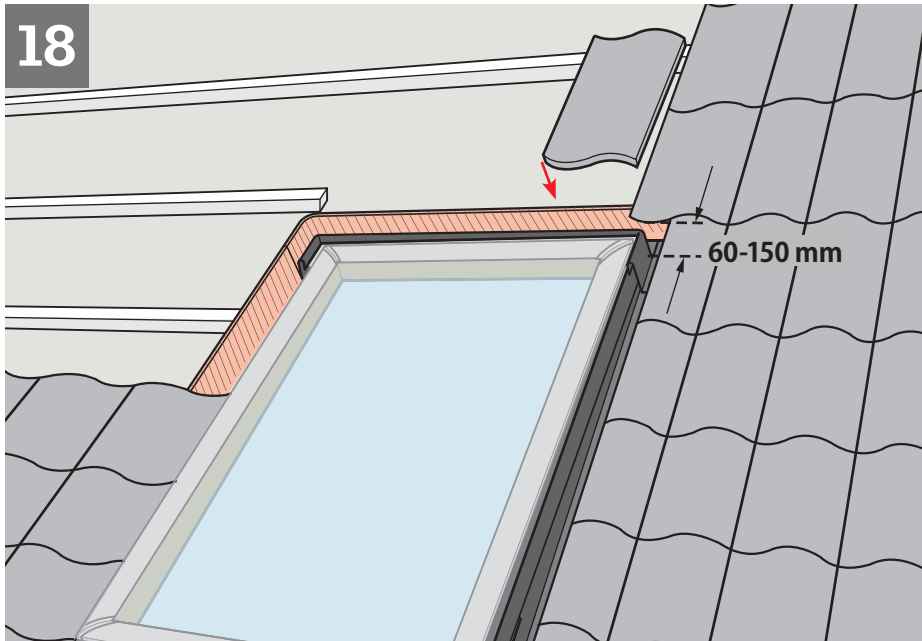
窓枠側部と側列の瓦とのすき間は30-60mm 開けて下さい。

瓦をより安定させるために瓦の起伏に合わせて次のような加工を施して下さい。

- a. ウレタンをカットして、瓦の高さに合わせる。
- b. 幅の狭い瓦の場合、銅線で瓦棧に緊結して下さい。



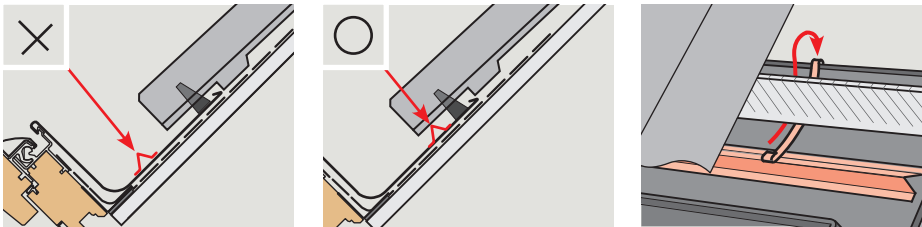
18



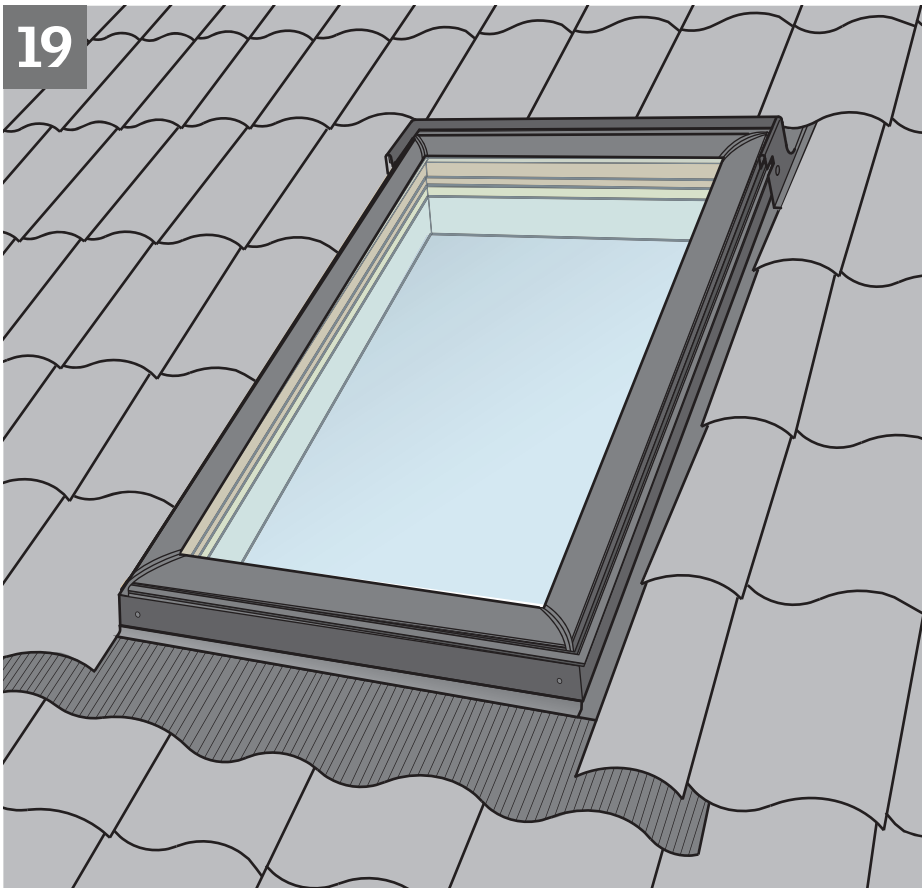
上部水切りのウレタンを瓦の起伏に合わせてカットして下さい。
 上部水切りと天辺にくる瓦のすき間は60-150mm 開けて下さい。
 天辺にくる瓦が横の瓦と高さのバランスを崩さぬよう瓦サポートを瓦の下に合わせて下さい(下図)。

重要!

サッシが手で開かないことを確認して下さい。万一、窓が開く時は、サッシとチェーンを接続して下さい。

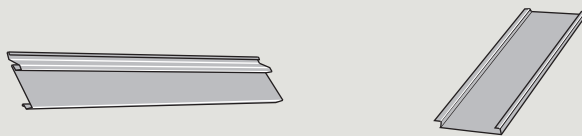


19



鋼板用取り付け説明書

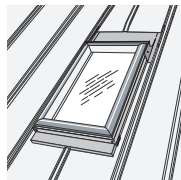
*瓦棒・ステンレス・銅板等をご使用の際にも参考例として参照下さい。



*水切りとアダプターの使用について (水切りやアダプターを使った施工方法は、同梱説明書やQRコードからご覧ください)

鋼板上部水切り：6寸未満に推奨、主に瓦棒葺き横一文字葺きなど、積雪地以外で起伏のない鋼板に使用

鋼板上部水切りを使用する施工

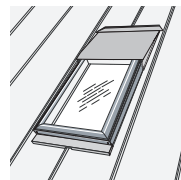
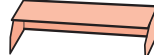


鋼板上部水切り



鋼板掴みアダプター：6寸以上や積雪地に推奨、分水板や棟包み接続、鋼板を天窓上部にかしめる場合に使用

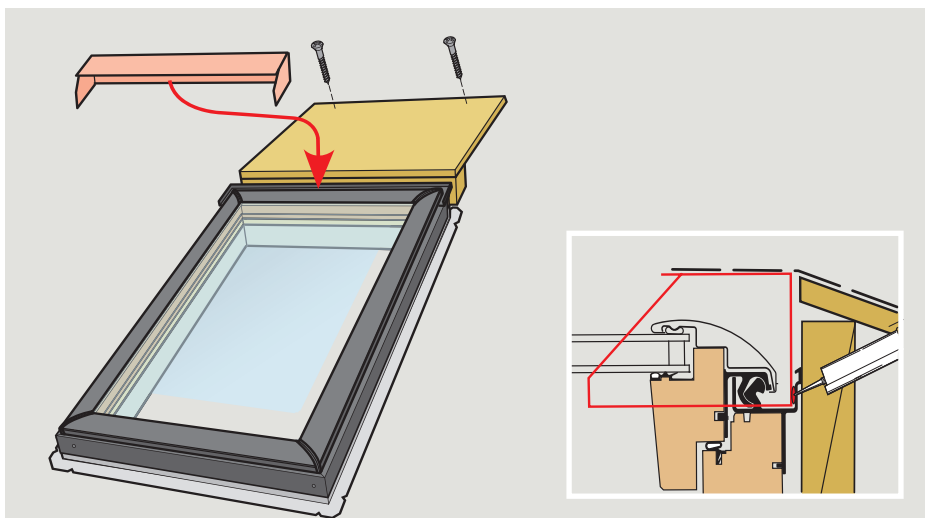
鋼板掴みアダプターを使用する施工



鋼板掴みアダプター



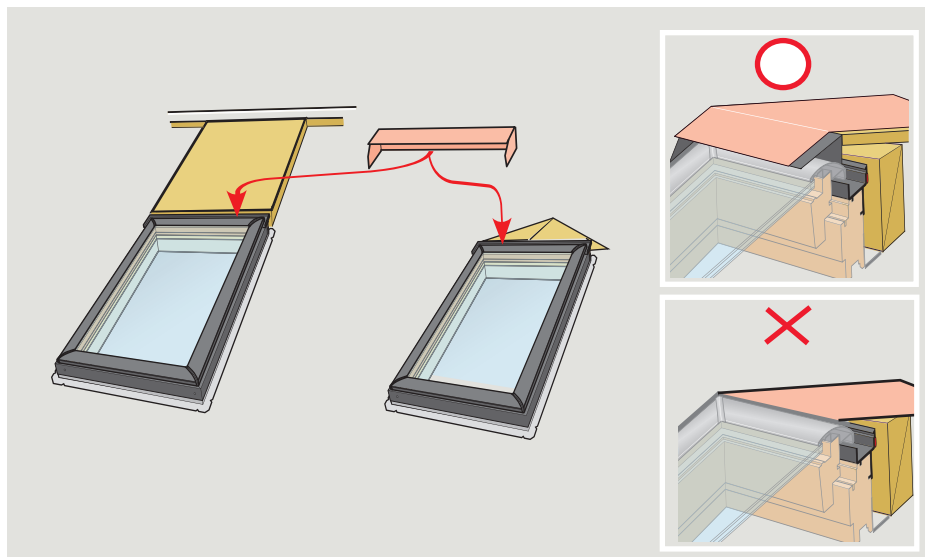
多雪区域での施工上の注意



多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。同区域の鋼板屋根には天窓上部にジャンプ台を施工して下さい。

- ・窓枠上部へ土台となる合板を貼ります。
- ・合板は十分な長さを取って下さい。
- ・雪が溜まるので、逆勾配にしないで下さい。
- ・積雪地用の天窓はジャンプ台用アダプターが付いています。
- ・現場でアダプターを付ける場合は左図のようにシールや防水テープで取り付けて下さい。

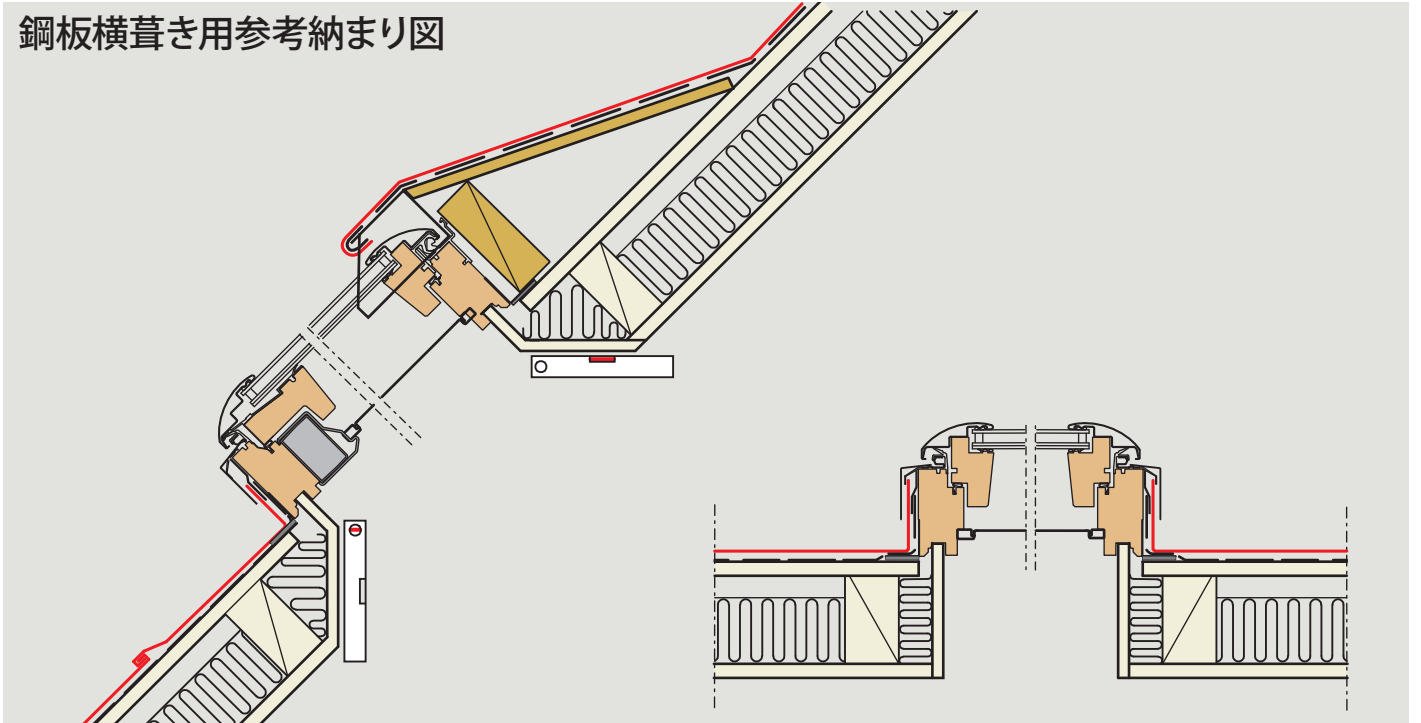
鋼板掴みアダプターの施工上の注意



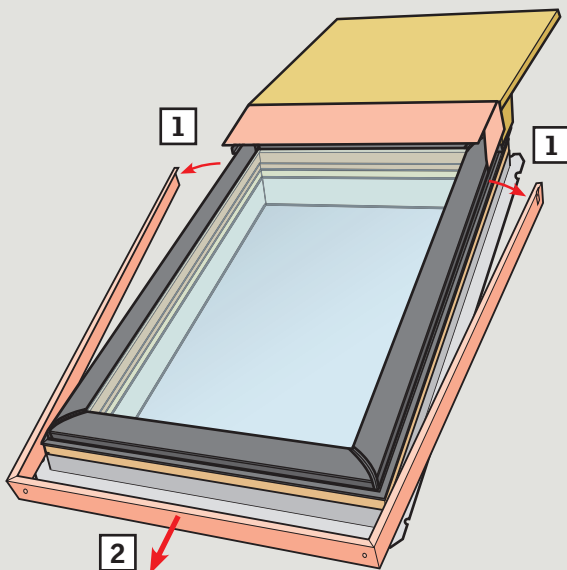
分水板や棟包み接続など鋼板を天窓上部にかしめる場合には、鋼板掴みアダプターを使用して下さい。

鋼板掴みアダプターを使わずに、直接天窓上部の縁を掴まないで下さい。

鋼板横葺き用参考納まり図



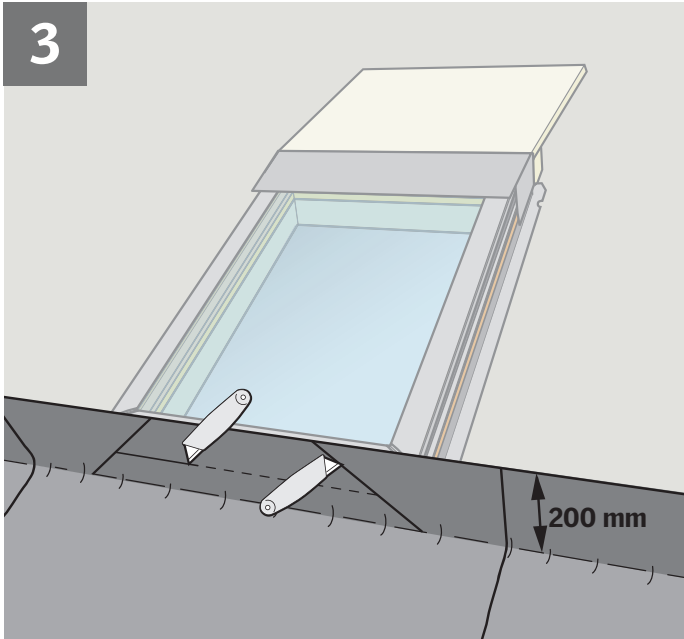
2



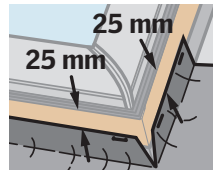
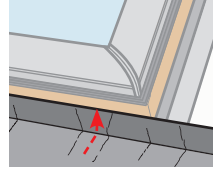
本体のアルミ外装板を、図のように上部を開いてから、下に引いて一旦取り外して下さい。
後で戻すので、紛失、変形しないようご注意ください。

注意!
左右と下部が一体型になっているので、そのまま外して下さい。
下部コーナーのねじは外さないで下さい。

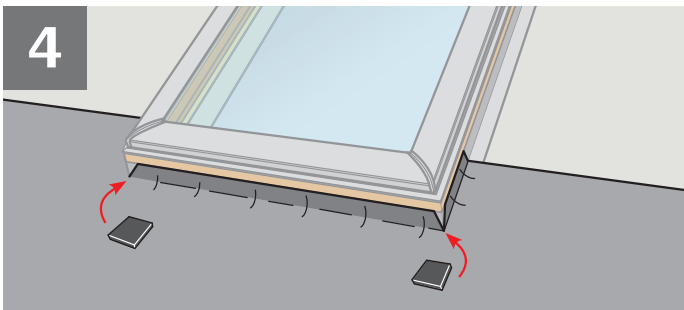
3



ルーフィングシートを本体上端より25mm 下まで立ち上げます。(防水テープを貼るので25mm 木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。



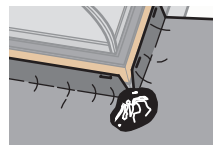
4



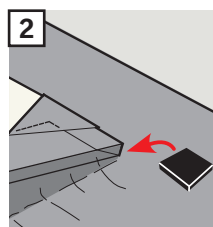
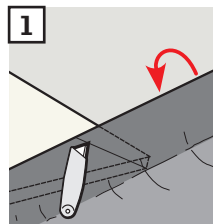
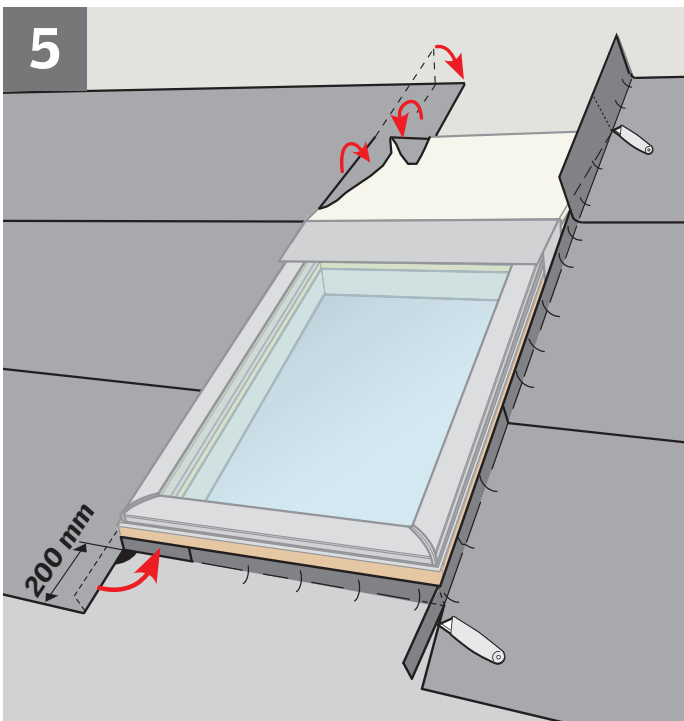
左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーブチルでふさいで下さい。

注意!

コーナーブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。



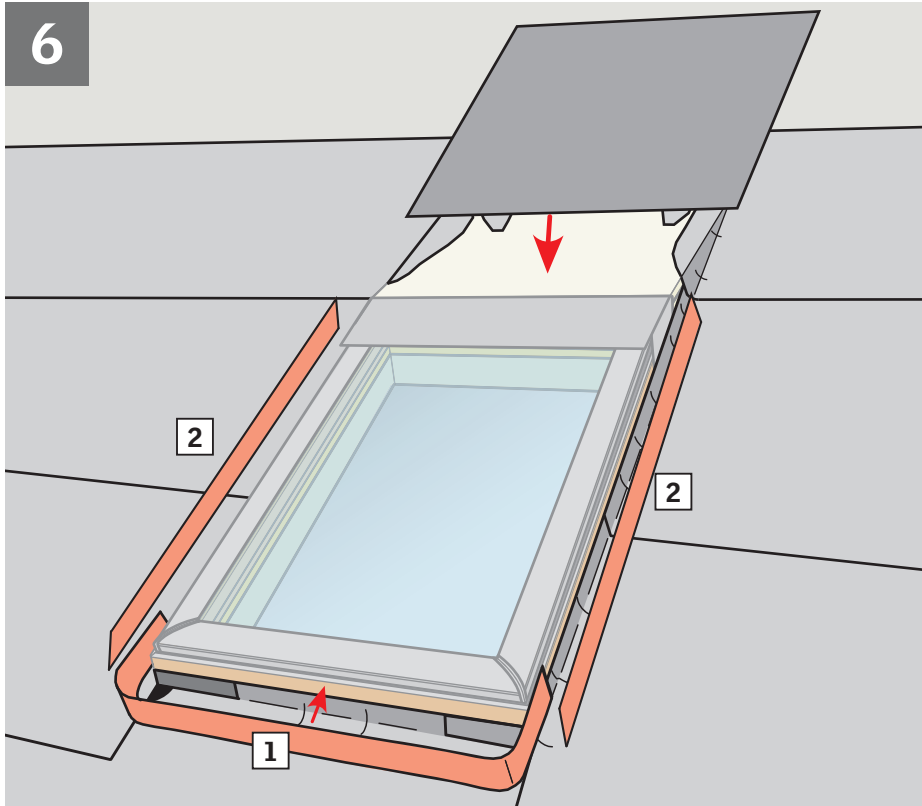
5



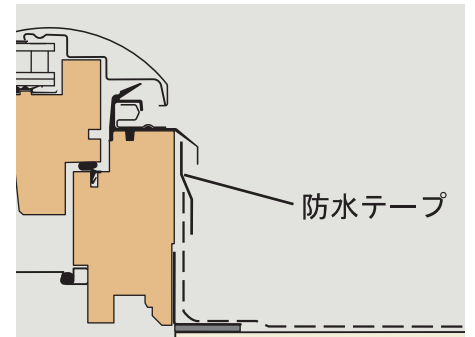
ルーフィングシートは、ジャンプ台の上部まで立ち上げ、角度をつけてカットして下さい。下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げ、タッカーで留めて下さい。側部は本体上端より25mm 下まで立ち上げて下さい。

ジャンプ台の上部コーナーは付属のコーナーブチルでピンホールをふさいで下さい。

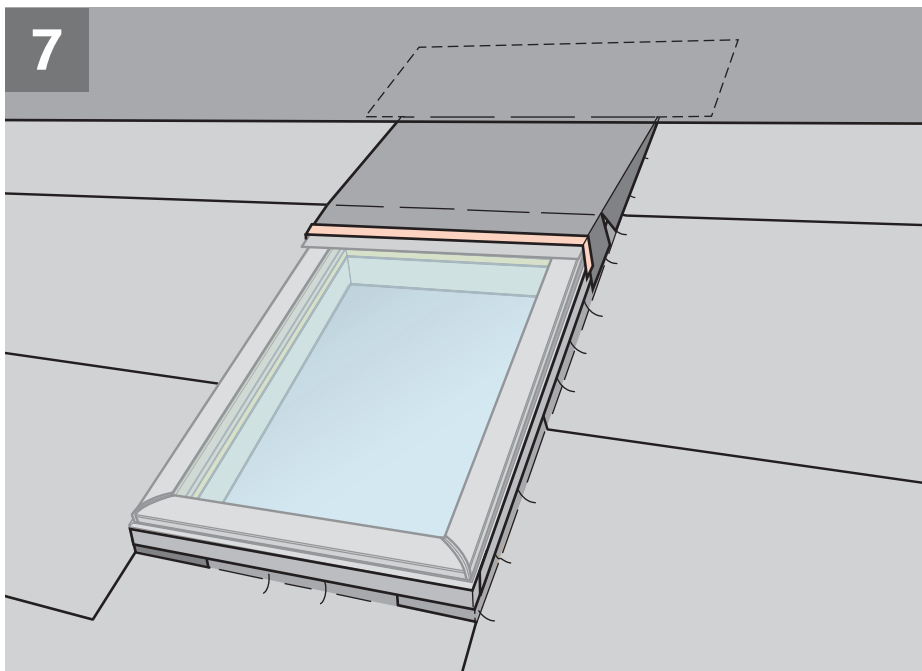
6



ルーフィングシートはジャンプ台の上部も被って下さい。
重ねしろ及びルーフィングシートに切れ目のある箇所にはコーキングを打って下さい。
本体周辺に防水テープ（付属品）を貼って、本体木部とルーフィングシートに接着して下さい。

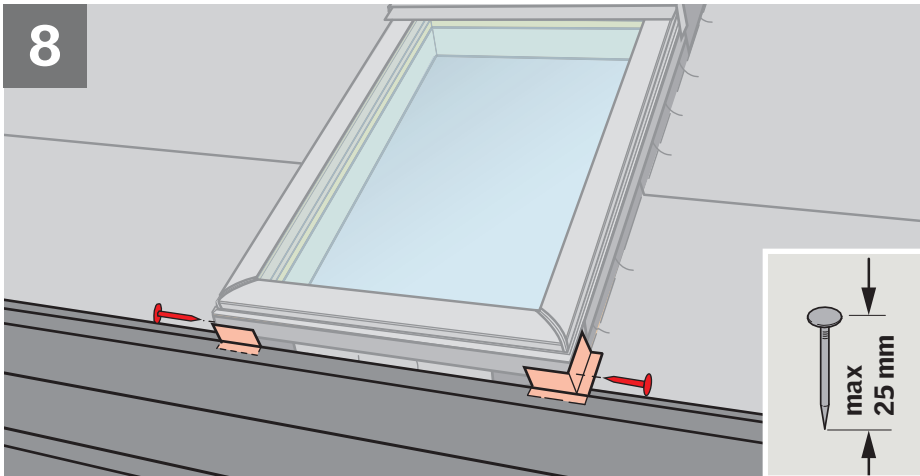


7



ジャンプ台上部を被いかぶせるようにルーフィングシートを貼って下さい。

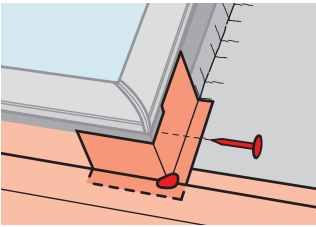
8



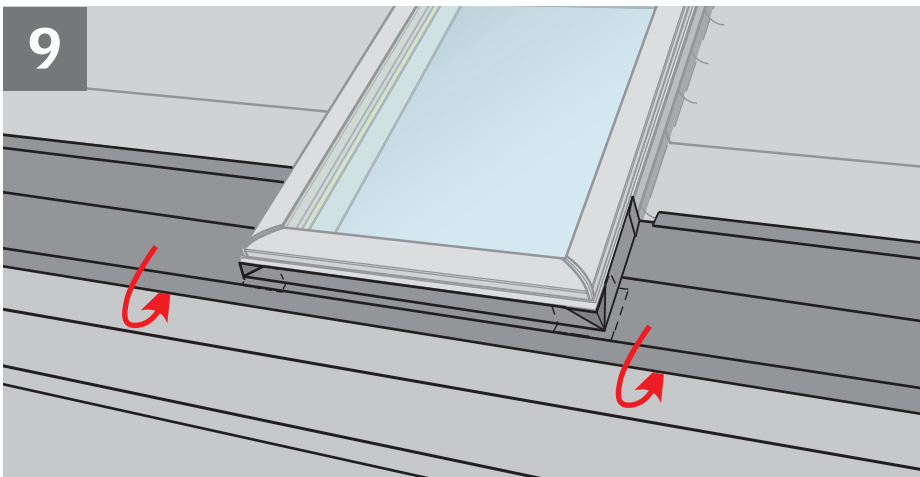
窓枠底部の両隅へ捨板を入れ、角部分にコーキングを打って下さい。

注意!

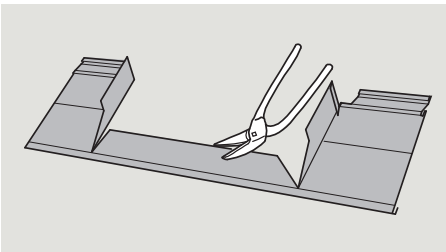
26mm 以上の釘を打たないで下さい。
内枠まで貫通すると窓の開閉ができなくなります。



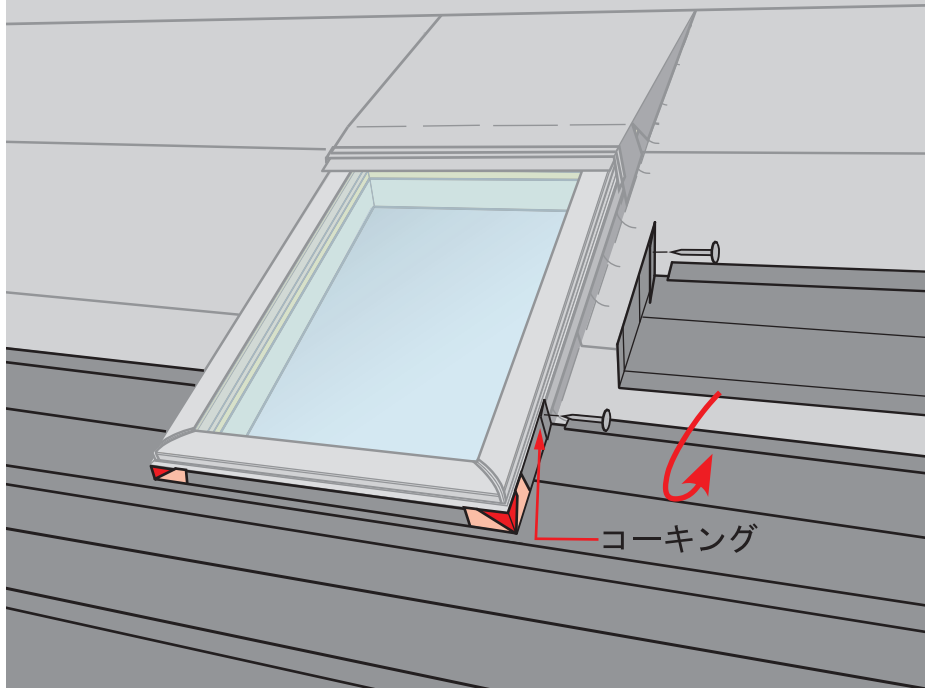
9



あらかじめ窓枠底部の形状に合わせて切り込みを入れた屋根材を図のように捨板の上に置いて下さい。
尚、立ち上がりの高さを窓枠の天端の少し下に合わせ、ガスケットの内側に納めて下さい。



10



さらに底部の両隅へもう一度捨板を重ねます。

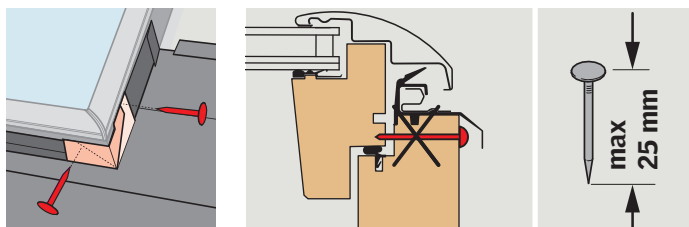
その際、側面は⑧で入れた捨板と⑨の屋根材の間へはさみ込みます。

また、底部は⑨の屋根材の外側から釘止めします。

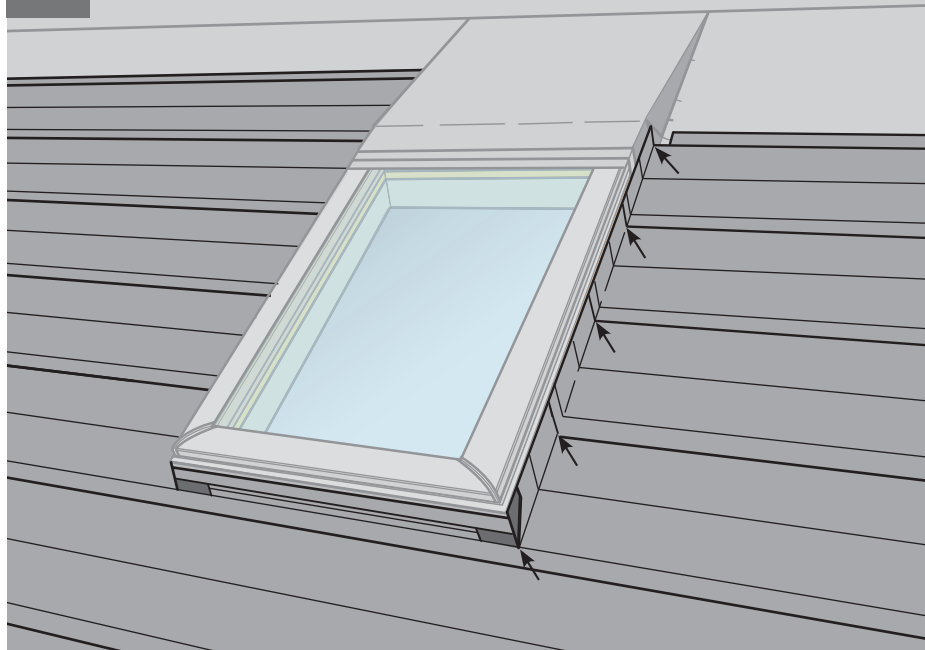
側面の屋根材は、窓枠に沿って立ち上げ本体に釘で固定して下さい。尚、図のように次に来る屋根材とのかみ合わせ部分には、あらかじめコーキングを打ち、十分な防水をして下さい。

注意！

26mm以上の釘を打たないで下さい。内枠まで貫通すると窓の開閉ができなくなります。



11

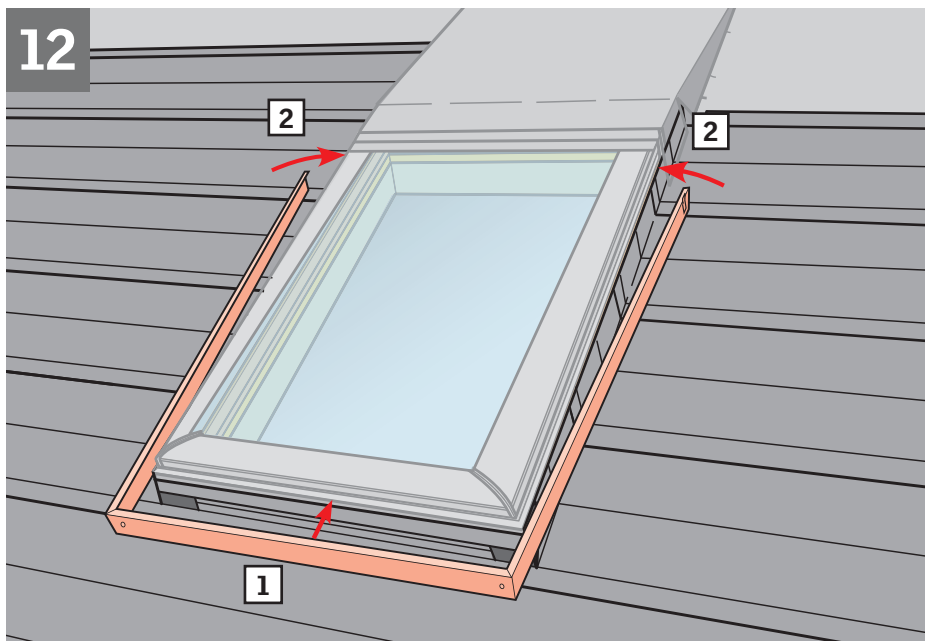


ジャンプ台横の下から1枚目のトタンは、窓枠の天端に合わせてカットします。

2枚目以降はつかみしろを残しておいて下さい。

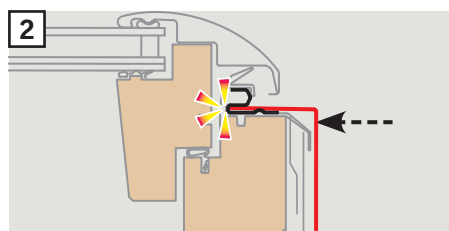
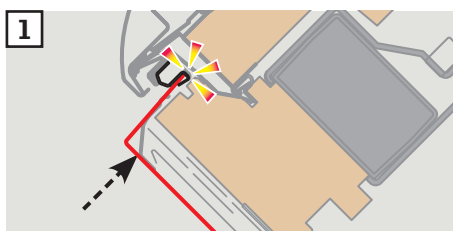
次に、立ち上がりのかみ合わせ部分(矢印箇所)へ再度少量のコーキングを打って下さい。

12

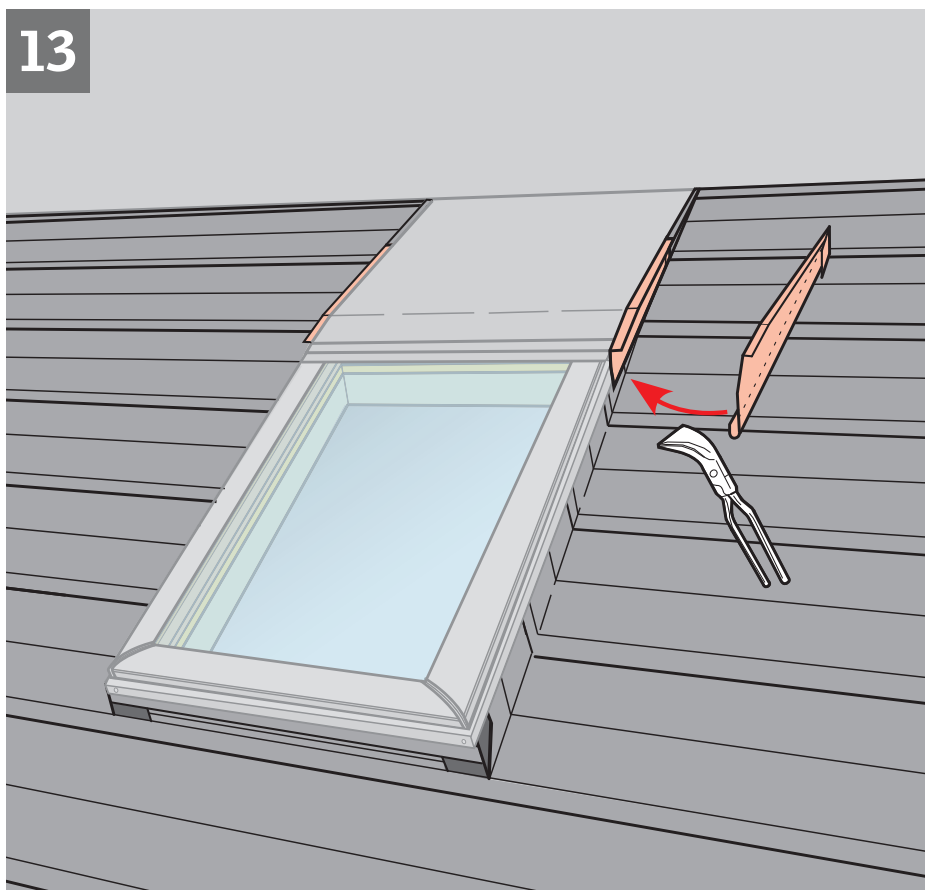


アルミ外装板を元の位置に取り付けて下さい。
まず、アルミ外装板上部を図のように開き、下から差し込みます。

重要!
アルミ外装板は、下図を参考に下部→側部の順にしっかり差し込み、正しい位置に戻して下さい。



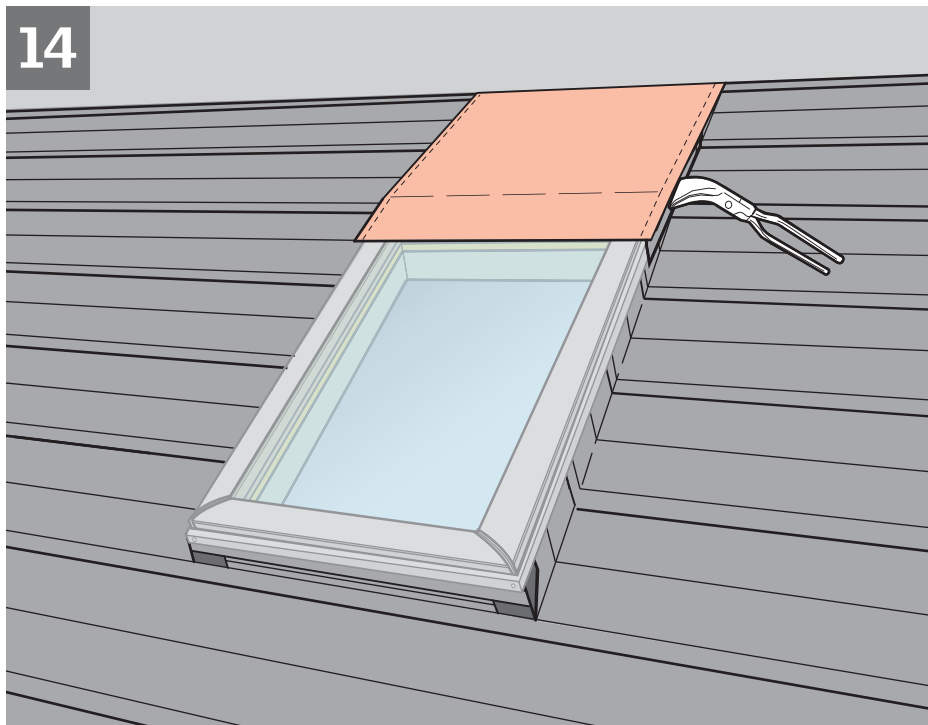
13



図のように3方向につかみしろを残し、カットした水切り板をジャンプ台側面に取り付け、⑬で取り付けしたアルミ外装板にはめ込んで周囲をしっかりと挟みつけ、完全にアルミ外装板をカバーします。本体へは、アルミ外装板と一緒に釘で固定して下さい。
この水切り板を取り付けることにより側部アルミ外装板とトタンの立ち上げ部分にコーキングすることなくスッキリと納めることができます。

注意!
26mm以上の釘を打たないで下さい。
内枠まで貫通すると窓の開閉ができなくなります。

14



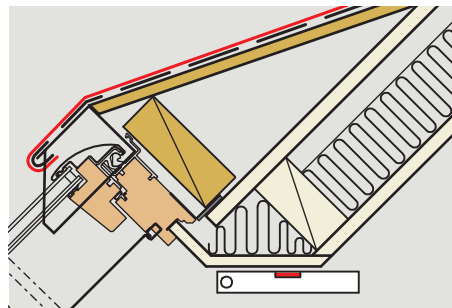
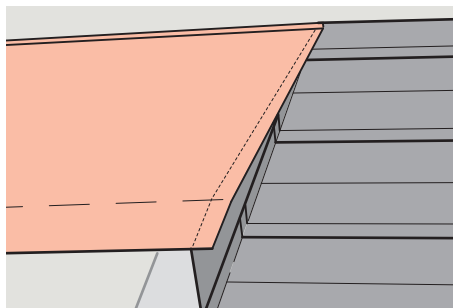
⑫、⑬で残したつかみしろ上部に天板の仮留めのために両面テープを貼ります。

次にジャンプ台の形状に合わせて加工した上部天板をかぶせます。

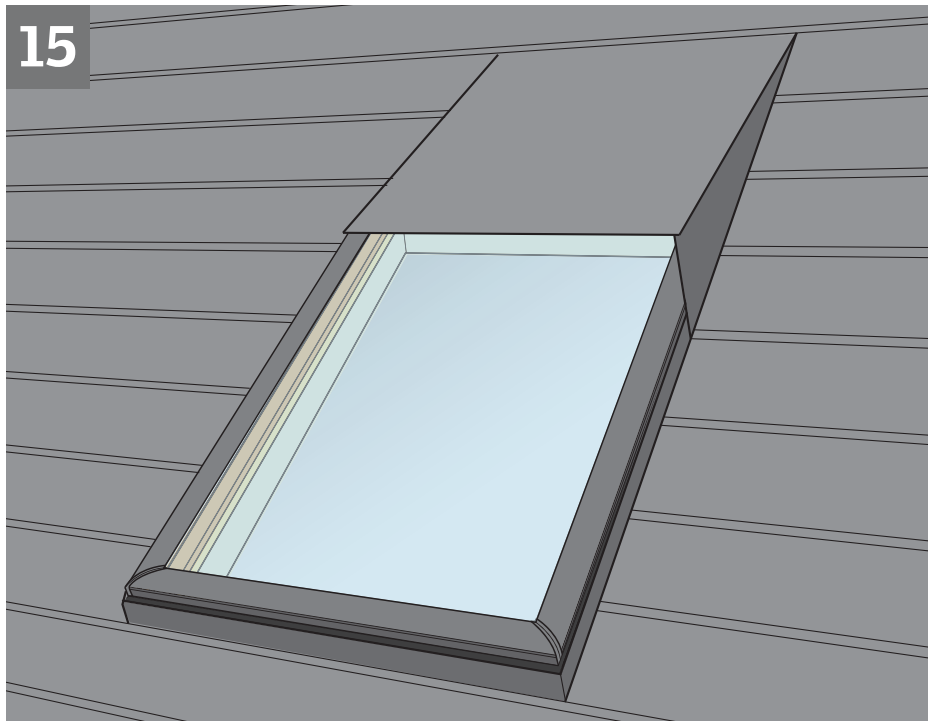
天板と側面は、⑫、⑬で残したつかみしろと一緒につかんで折り曲げます。

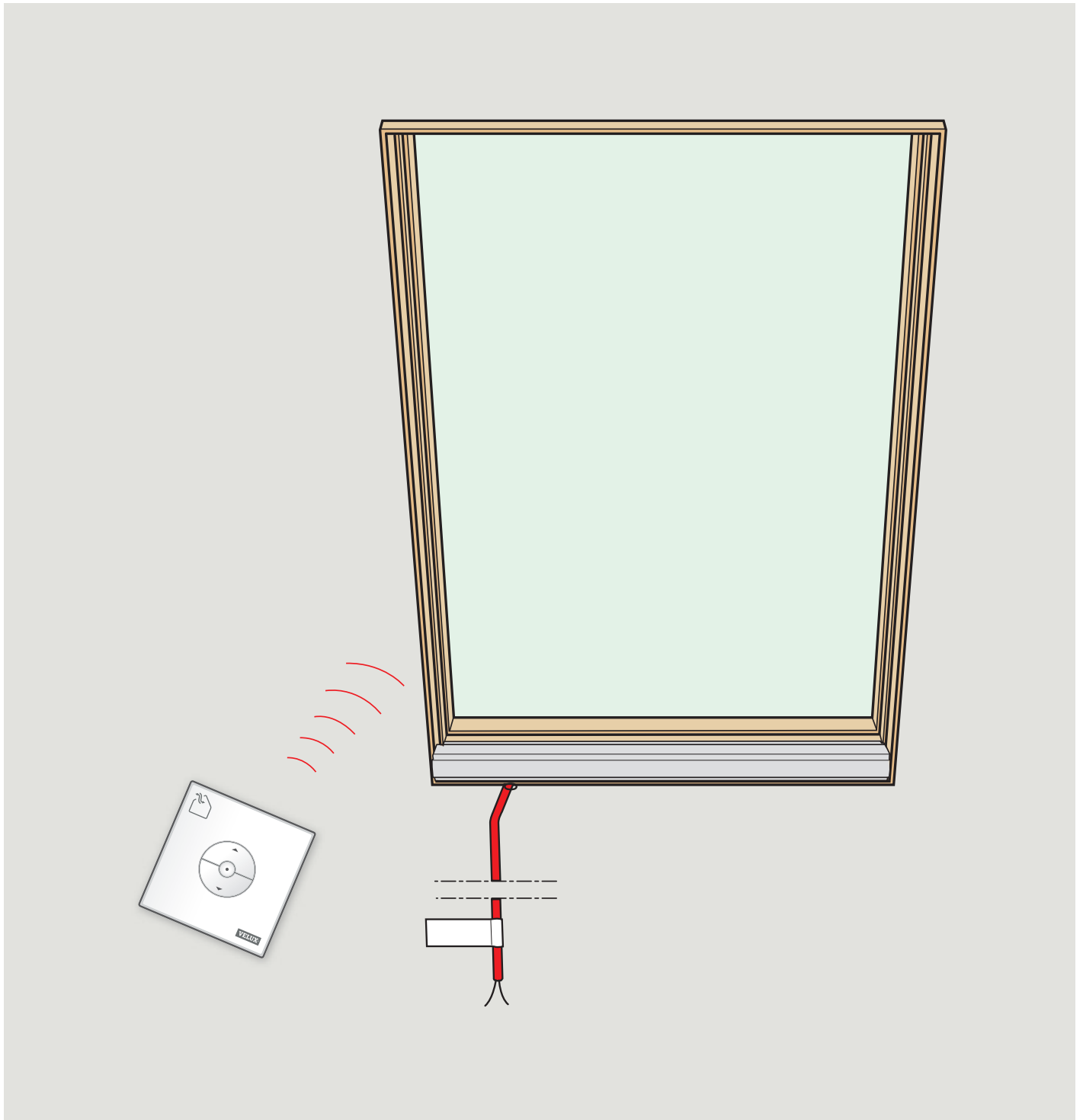
重要!

サッシが手で開かないことを確認して下さい。万一、窓が開く時は、サッシとチェーンを接続して下さい。



15





電動タイプの場合は、配線ケーブルを室内側に入れて下さい。窓本体にモーター等が内蔵されていますので、配線ケーブルを100Vに接続し、試運転を行って下さい。
詳しくは、リモコンに同梱されている説明書を参照下さい。



お問い合わせ先：日本ベルックス(株)



ナビダイヤル

TEL:0570-00-8141
FAX:0570-00-8146

※市内通話料金でご利用頂けます。

◆ナビダイヤルに接続できない場合は
TEL：03-3478-8145 FAX：03-3478-6879
www.velux.co.jp